



今度は絶対、
好きなお人と
えっちなことがしたい

R18



えー!?
彼は？
いないの？
みんな
気になるよね
ッ



もー
やめて
くださいよ
ッ



あはは



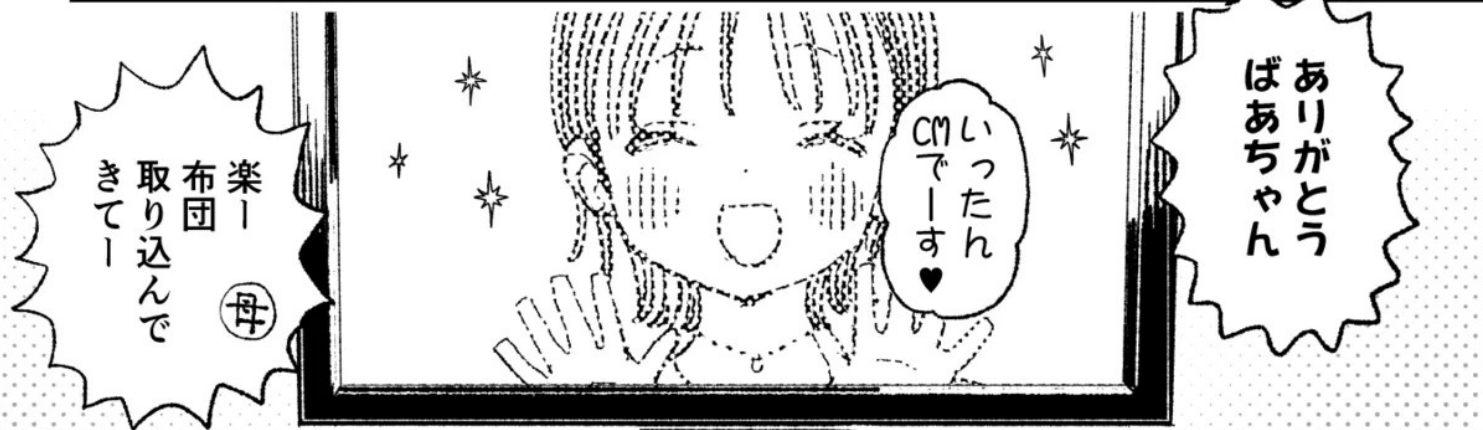
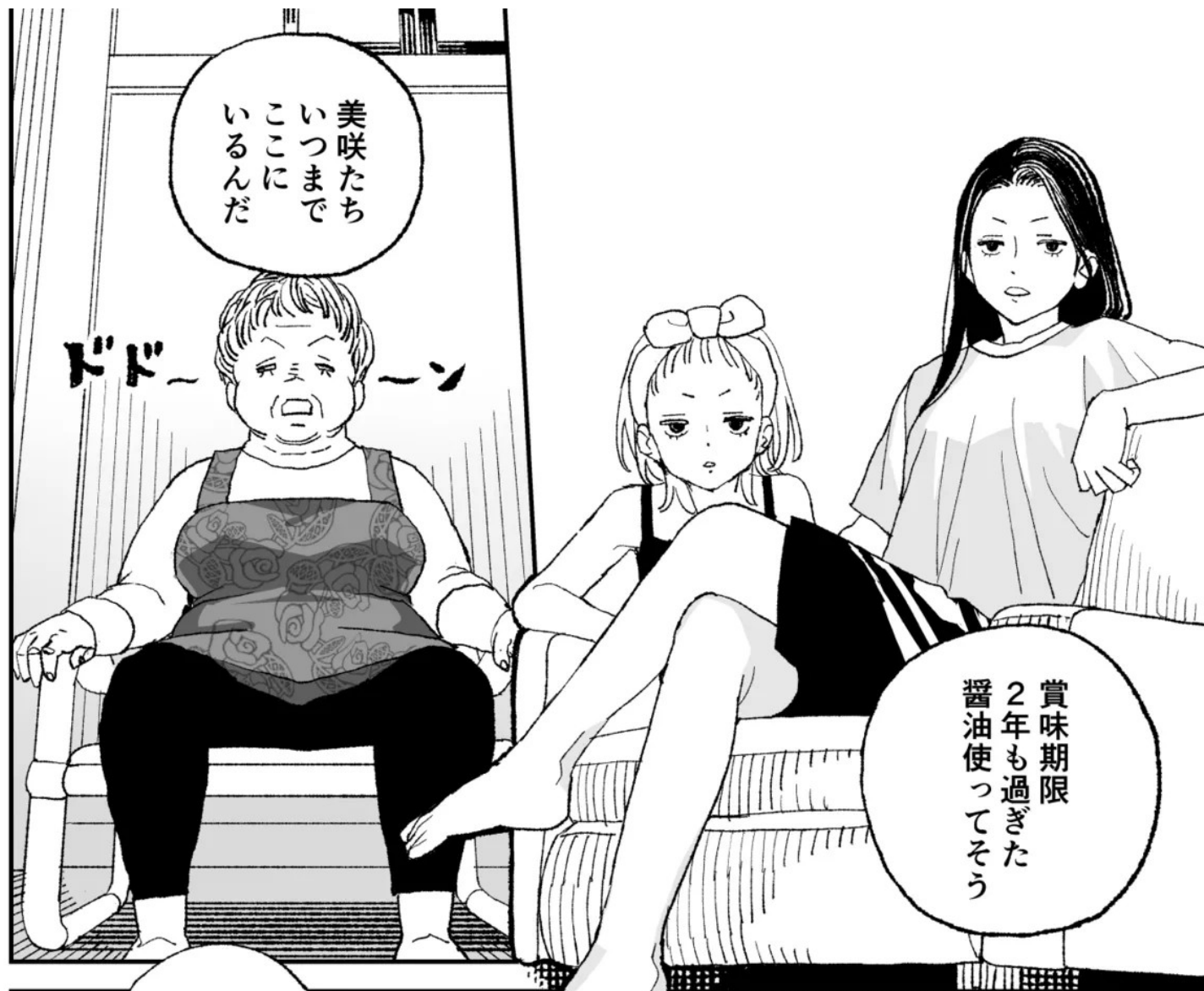
うーん
家でごろごろ
しています



美樹ちゃんって
休みの日って
何してるの？

はー！
俺も美樹ちゃん
みたいな子と
付き合いたい







姉ちゃん達を
見てたら
幻想だって
分かる

うおおお!!

ダッ



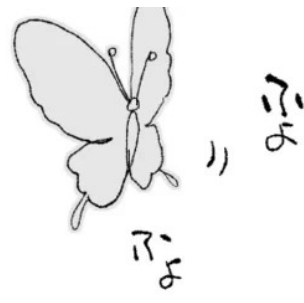
けど...
美樹ちゃんみたいに
お花が笑ってる
みたいな彼女が欲しい...



あたし達
本当は引越しの
手伝いじゃなくて
ばあちゃんに
会いにきたんだよね

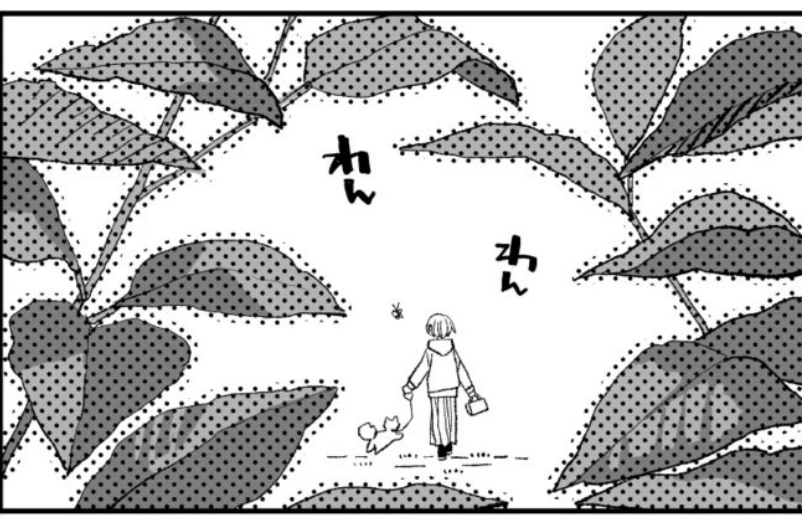
うそつけ
金もらいに
きただけだろ

ダッ

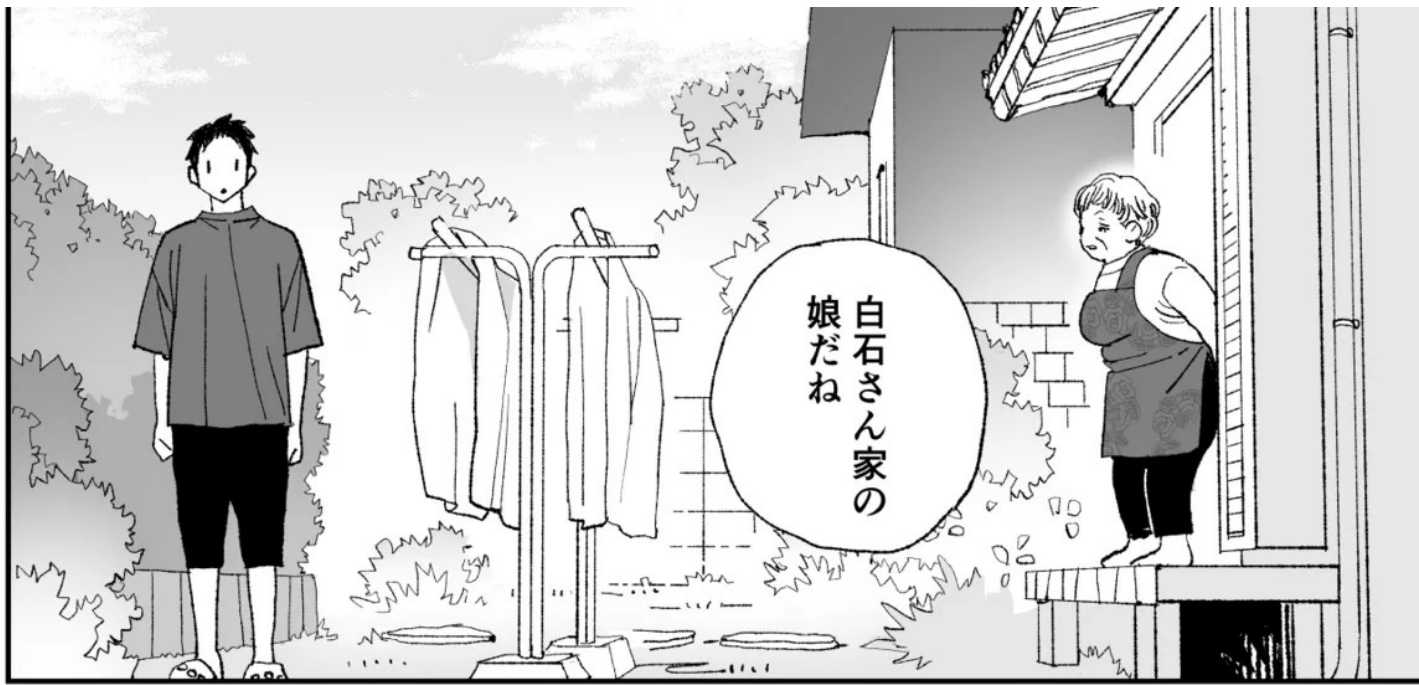


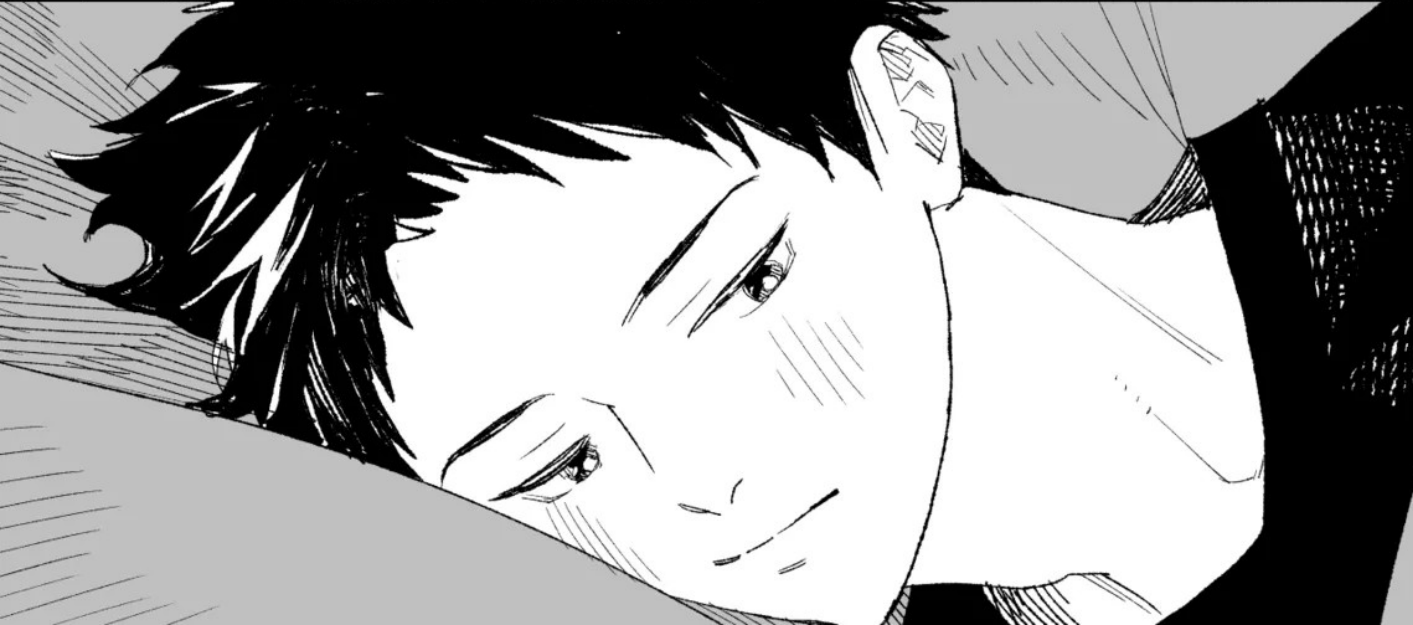
でも今まで
そんな女の子
会ったことないし
男子校だし

こんな
全然人がいない
田舎に住むことに
なるなんて…











初体験は
姉ちゃんの
友達だった

夜中に
酔っ払った勢いで
襲われて

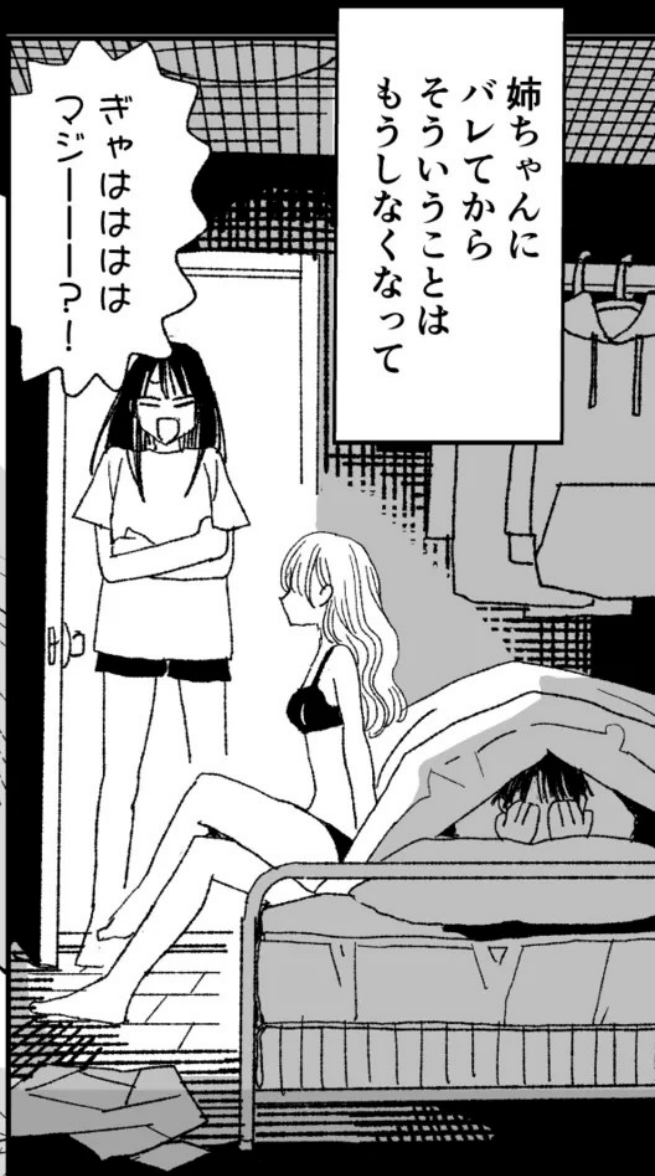
顔も可愛いし
胸もでかいから
流されて
何回かした



楽くん
ちんこデかくて
良かったわ

うはははははは
ははははははは
ははははははは
ははははははは

我に返ってから
初体験を遊びで
してしまったことを
後悔した



姉ちゃんに
バレてから
そういうことは
もうしなくなつて

ギヤははははは
マジーーーー?!



だから
今度は絶対
好きになった人と
付き合って

手繋いで

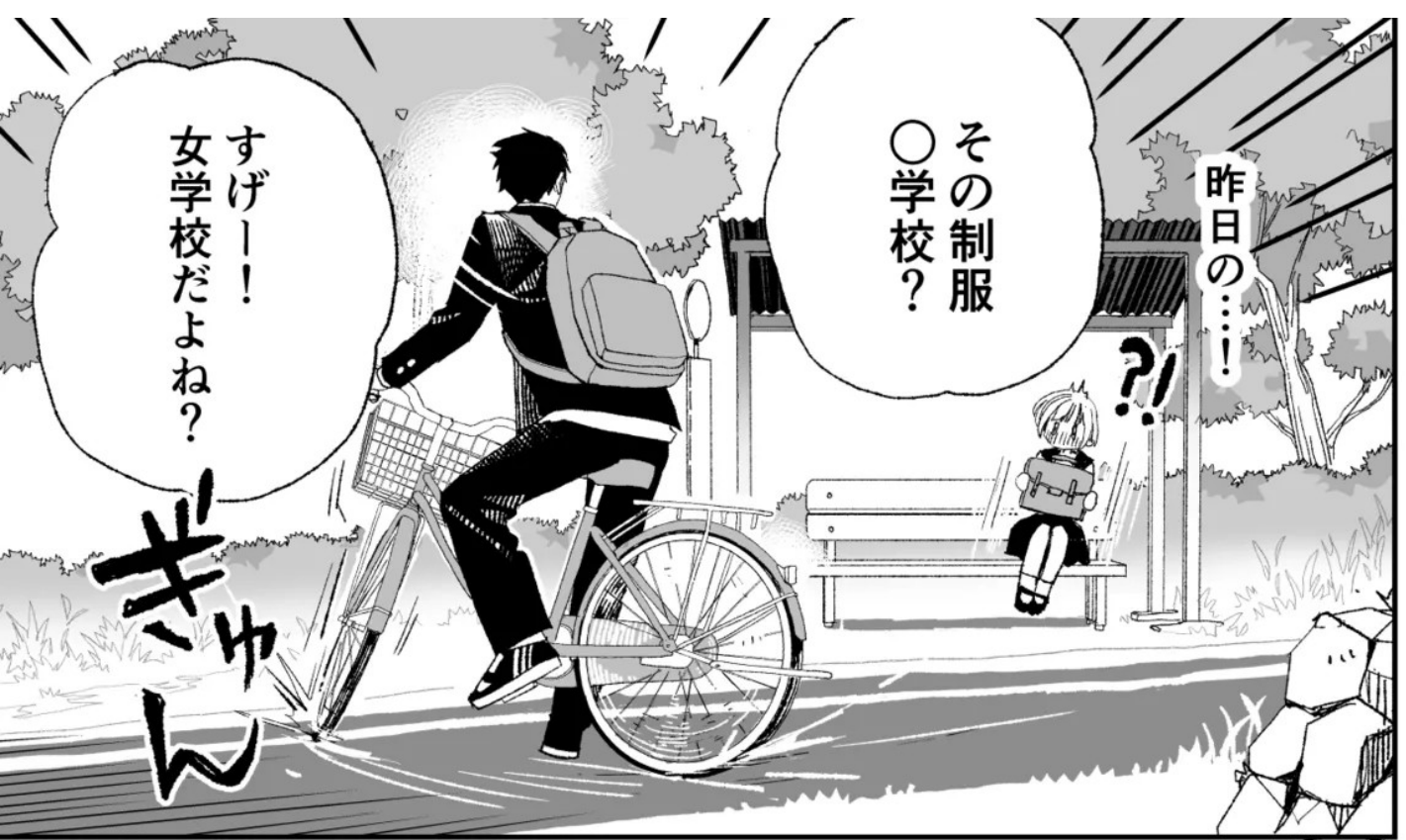
キスして



えっちがしたい

ふっ...





昨日の...!!

その制服
○学校?

すげー!
女学校だよな?

ギョッ



……ッ



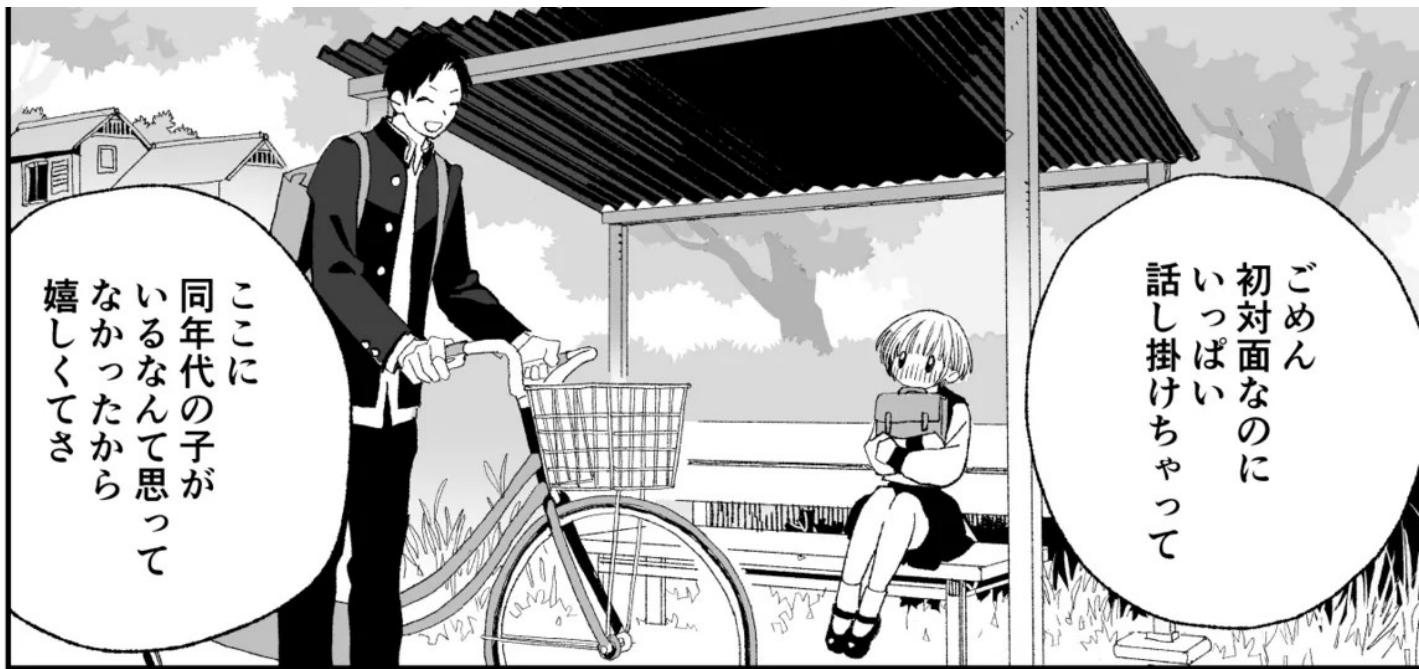
俺こないだ
引越して
きたんだ

川の近くの
赤い屋根の家



ばあちゃん家
なんだけど

お母さんと
一緒に住まわせて
もらうことにな
ってさ



ここに
同年代の子が
いるなんて思っ
てなかったから
嬉しくてさ

ごめん
初対面なのに
いっぱい
話し掛けちゃって



バス通なんだ
何時にくるの？

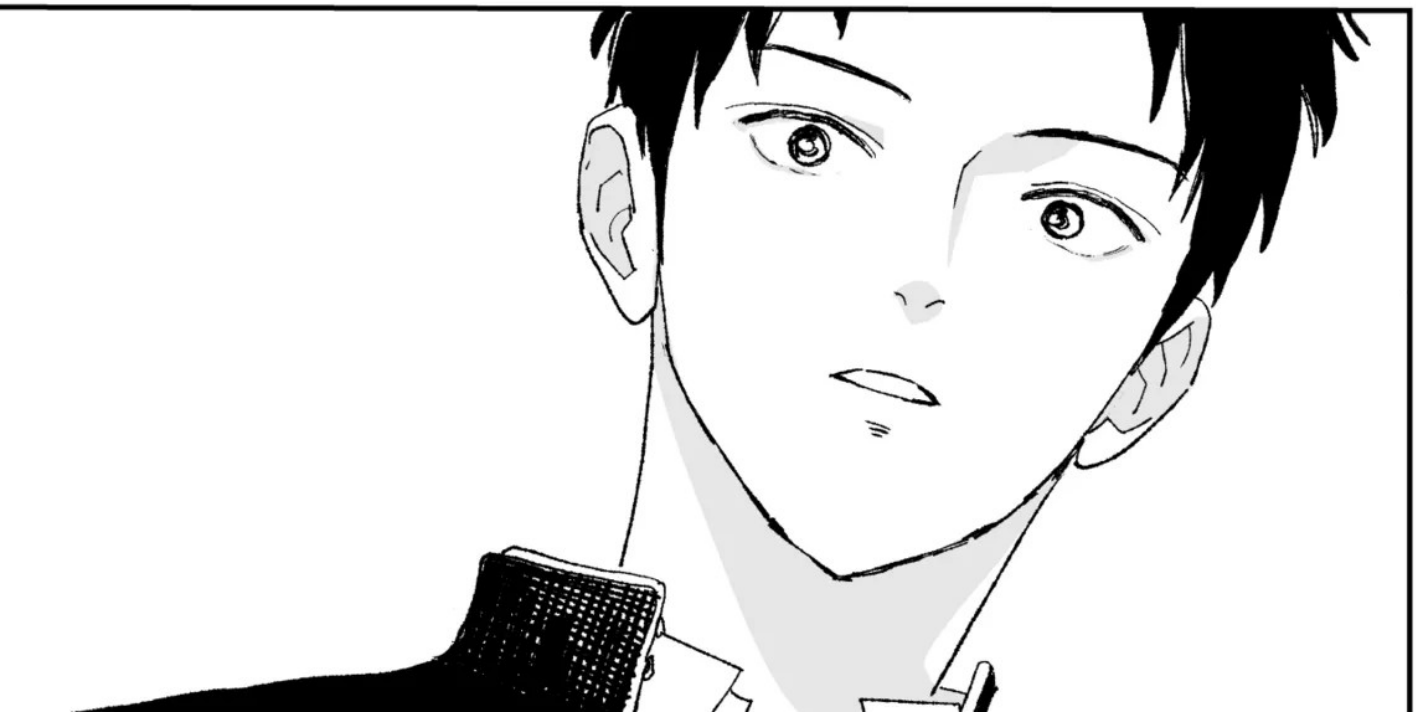
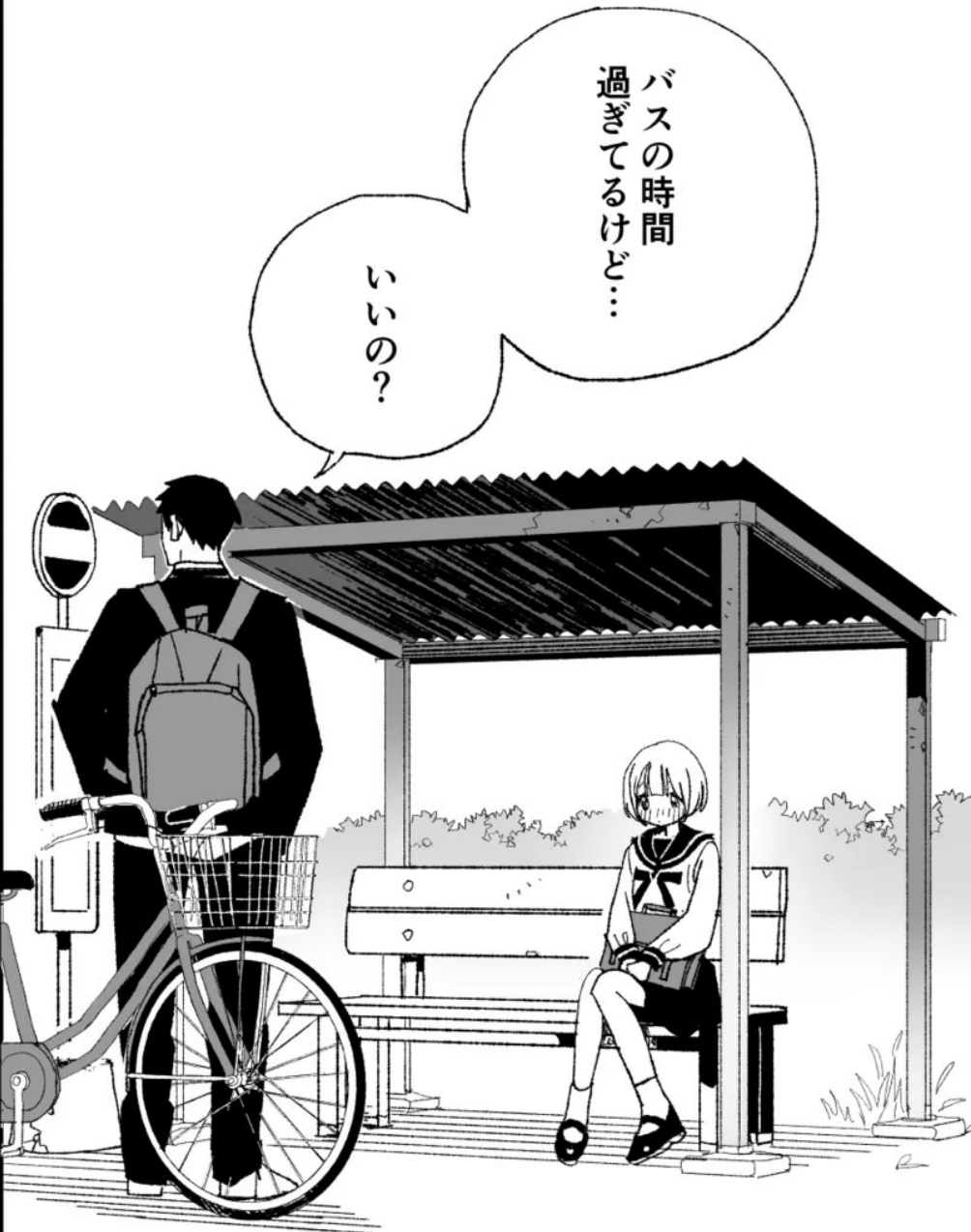


あれ

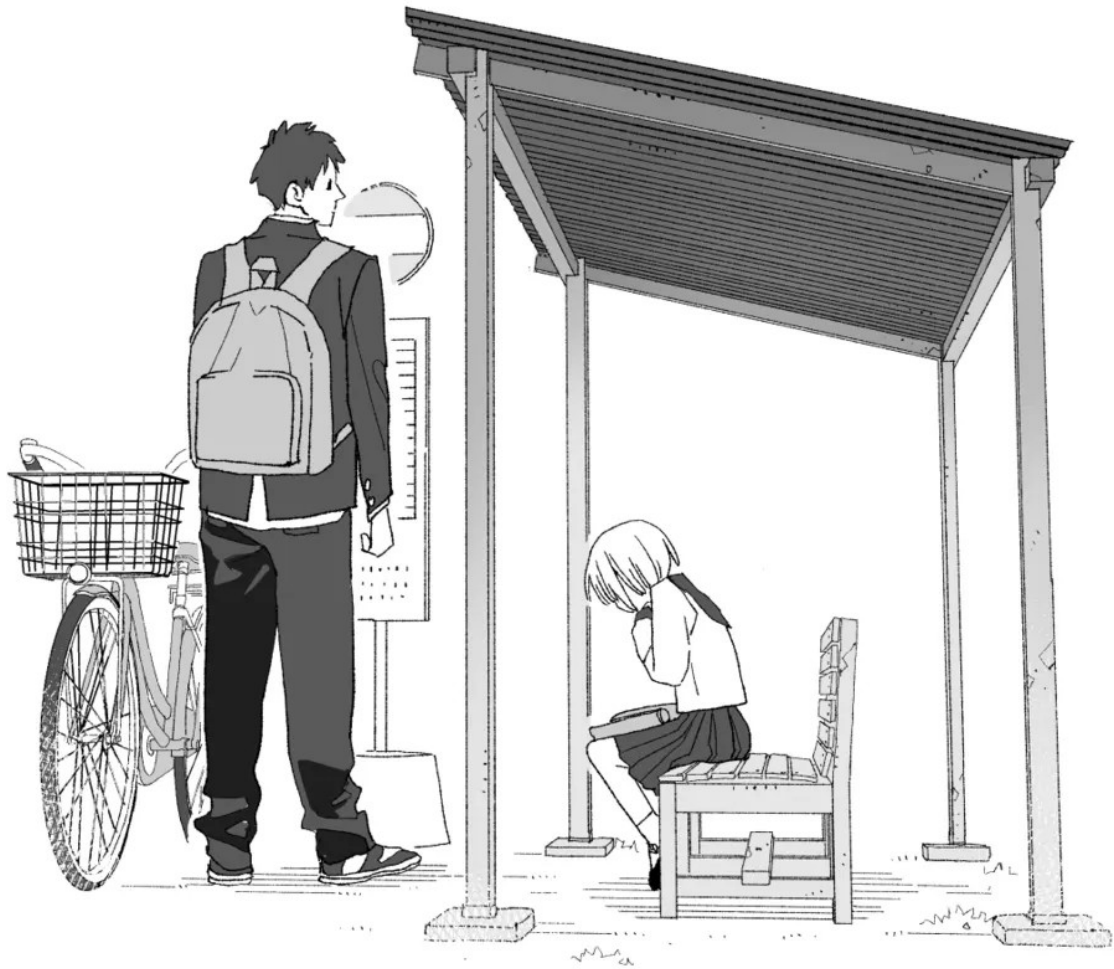


制服見れて
めっちゃ嬉しい

……
てか……







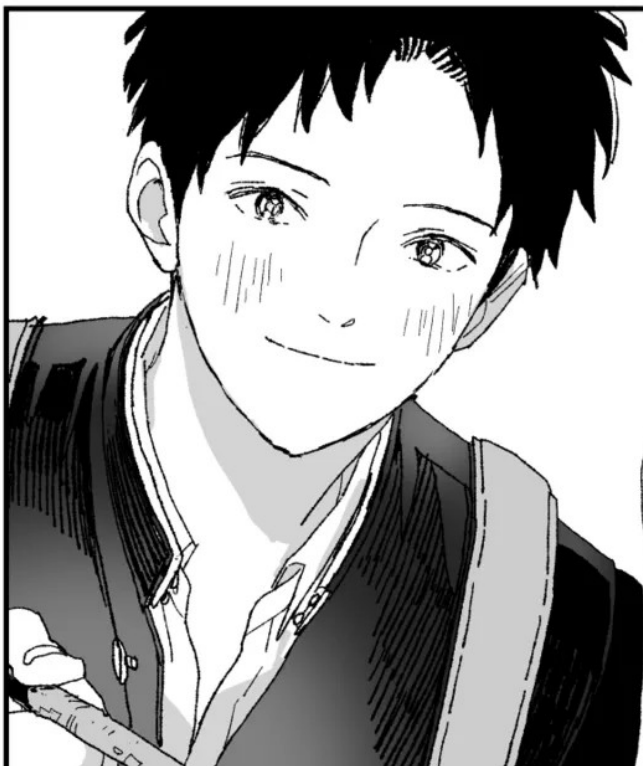
「変わった娘だよ」



小野寺 楽

俺
小野寺 楽

楽しいって
書いて楽

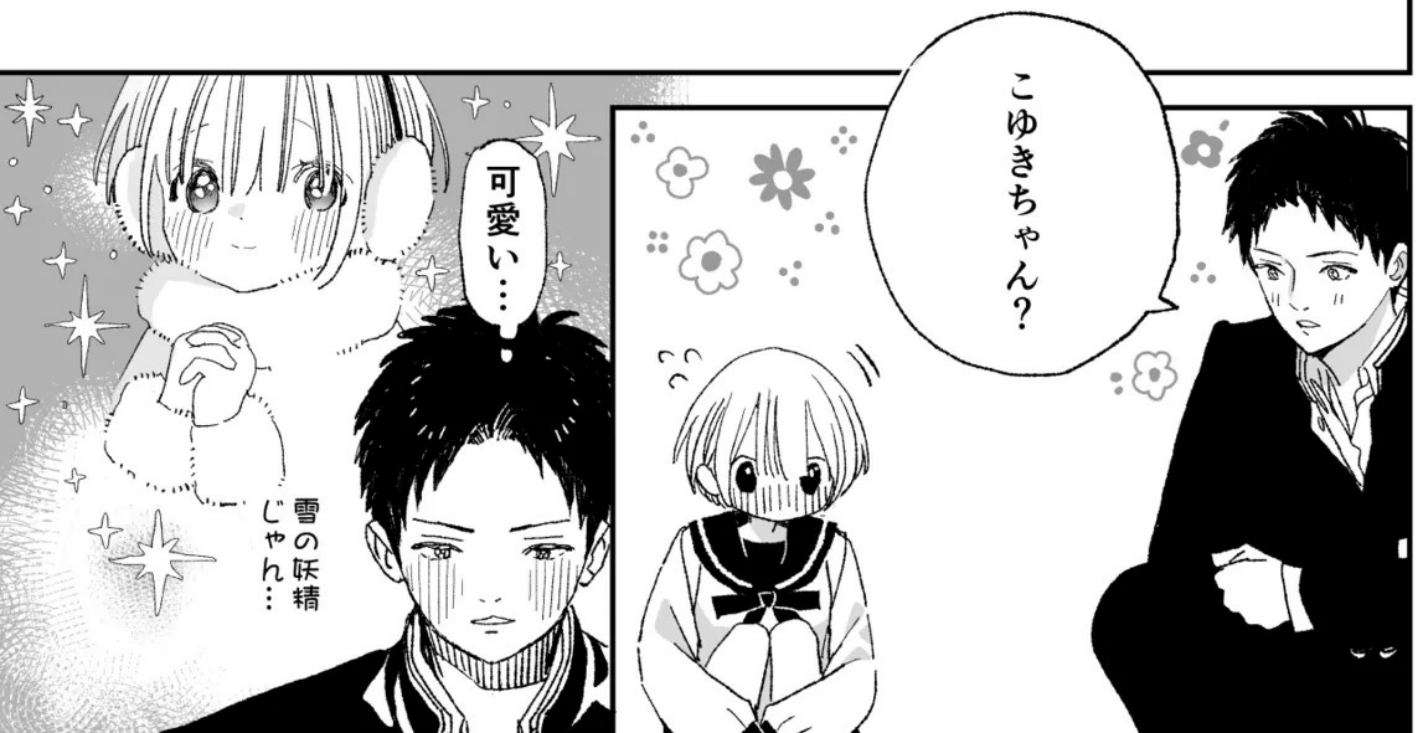


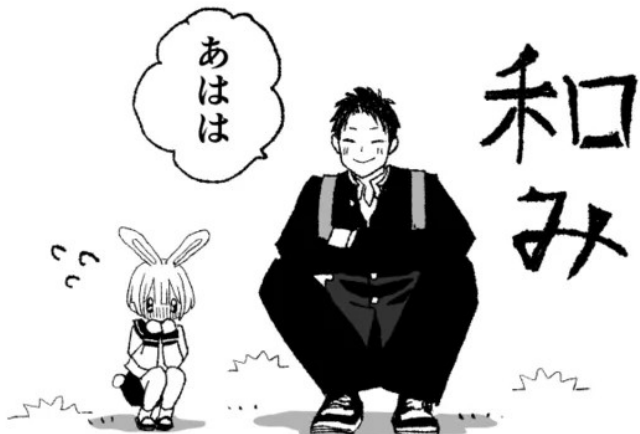
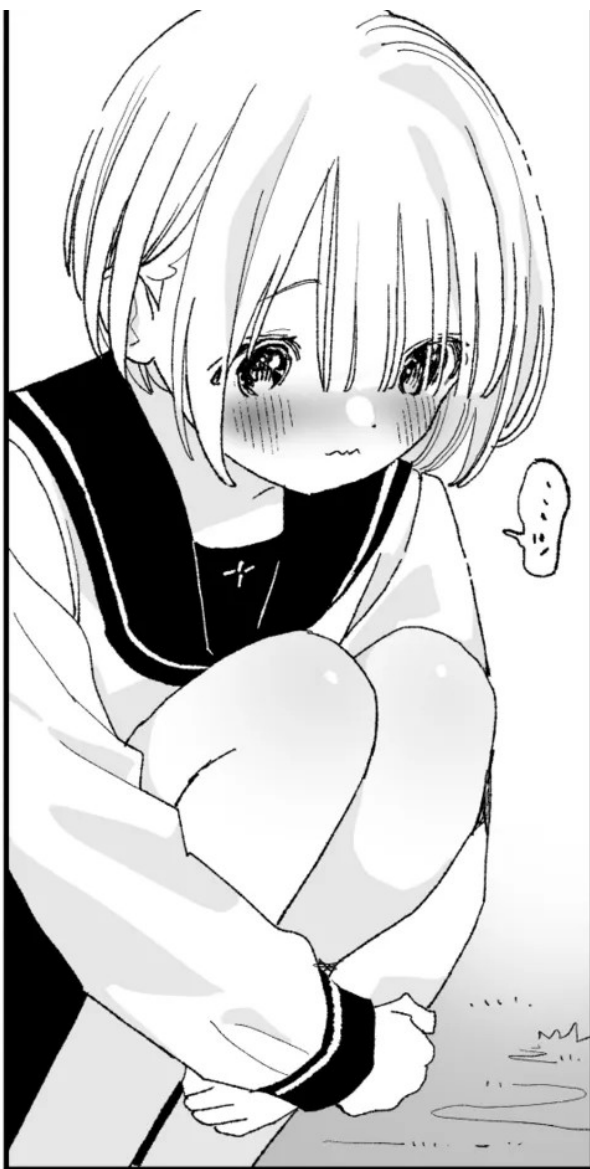
名前は？

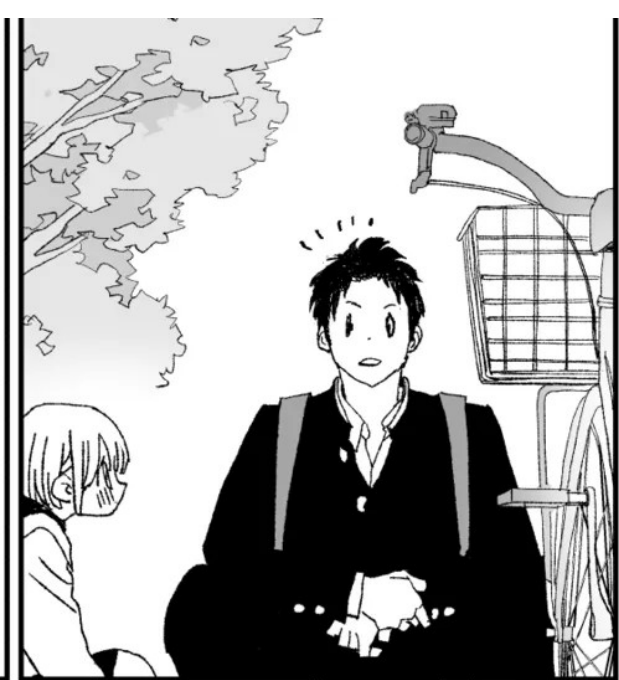
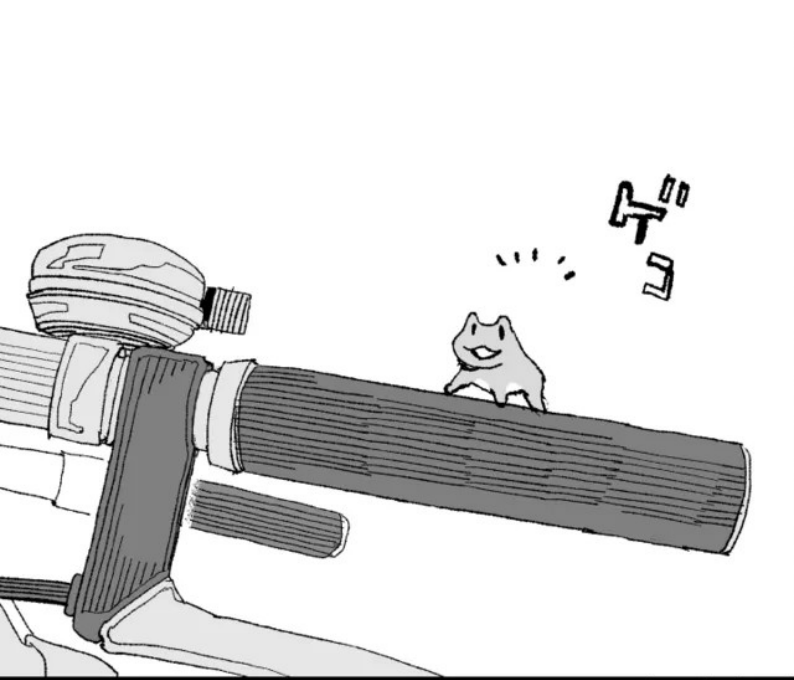




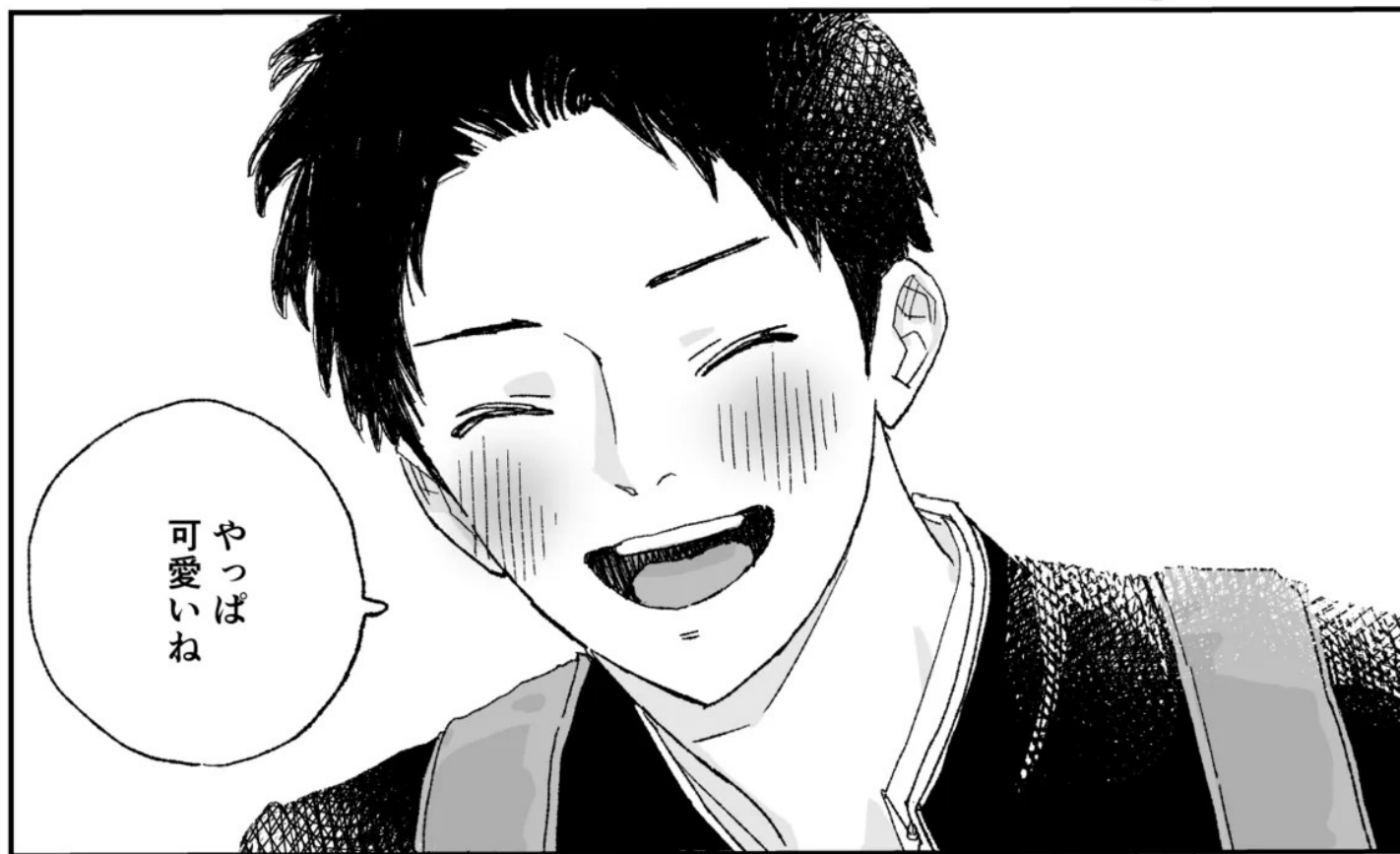
白雪恋石



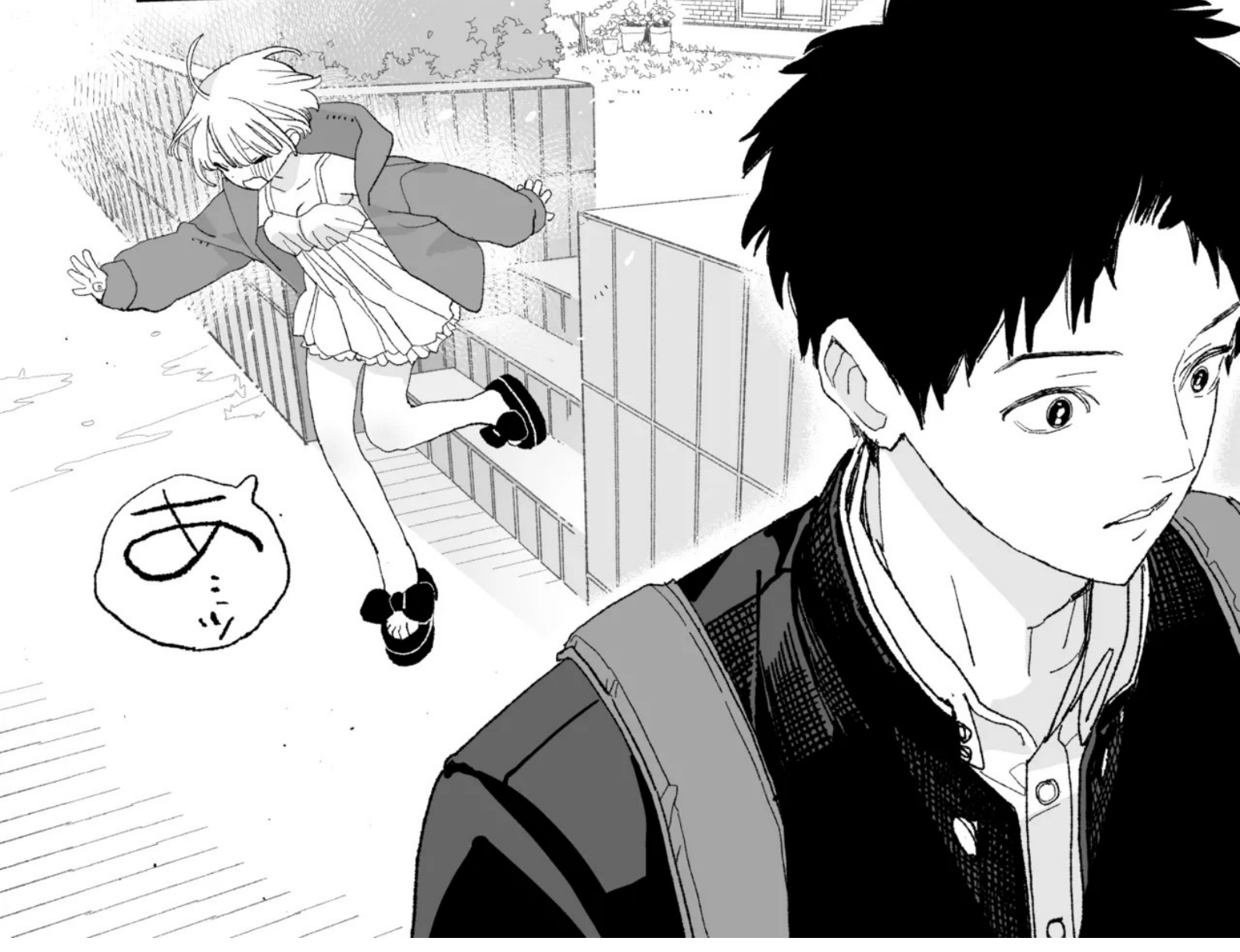




声...













ああああっ...

あ?!



目立ってる家
だからさ...
お城みたい
だなんて...
.....

ごめん
家いきなり...
ばあちゃんに
教えてもらって

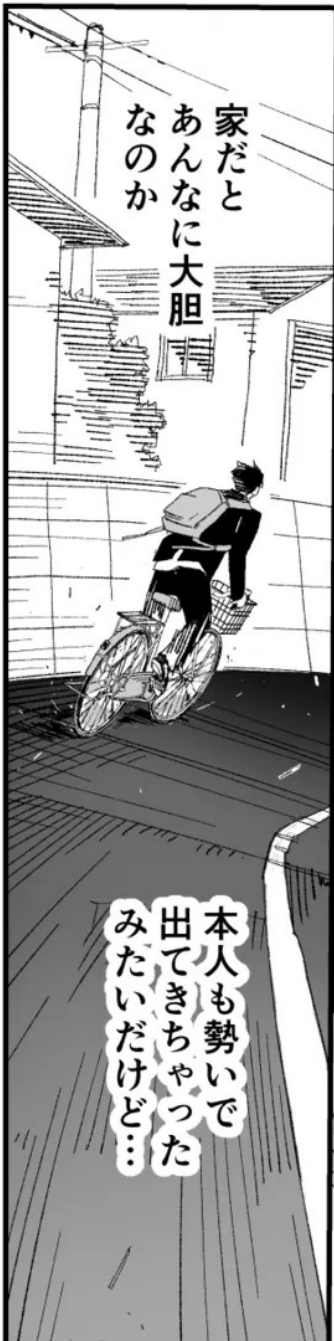


またね



会いたかったから

ありがとう

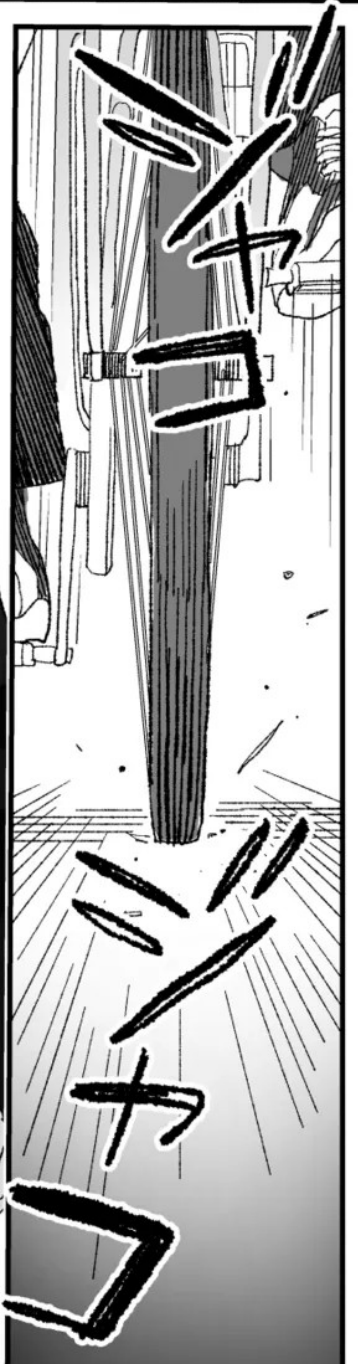


家だと
あんなに大胆
なのか

本人も勢いで
出てきちゃった
みたいだけど...



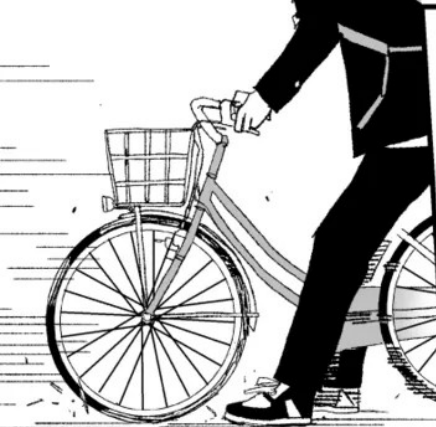
何だあの格好?!





胸結構あった

しかもちよつと揺れてた



うあああ



足白くてきれいだった



ごめんなさい

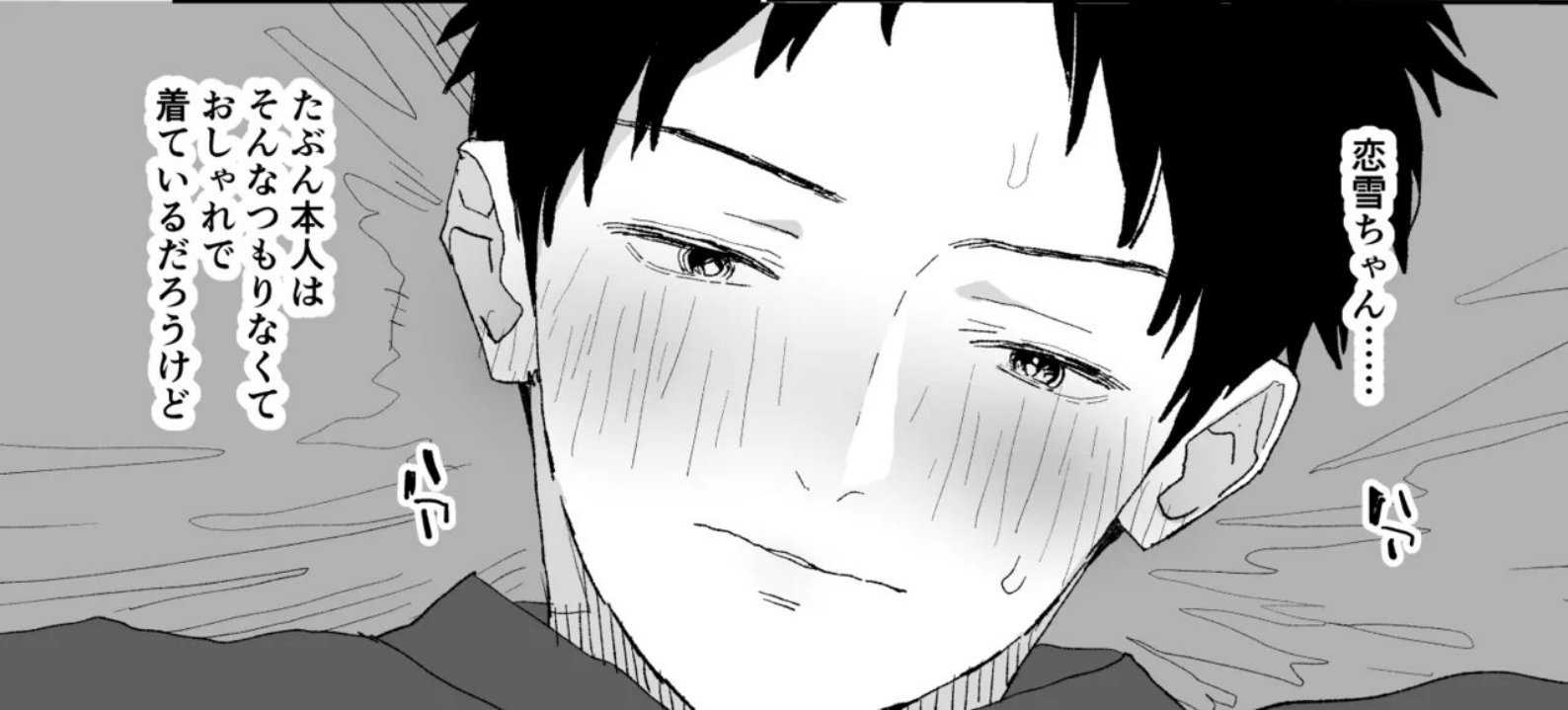


適当な草むらで隠れて抜いて

学校に着いて即トイレで抜いて

昼休み放課後

隙あらば抜きまくって





あ

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

触りたい

あ

あの太ももに
挟まれたい…

あ
あ
あ
あ
あ
あ

あ

あ

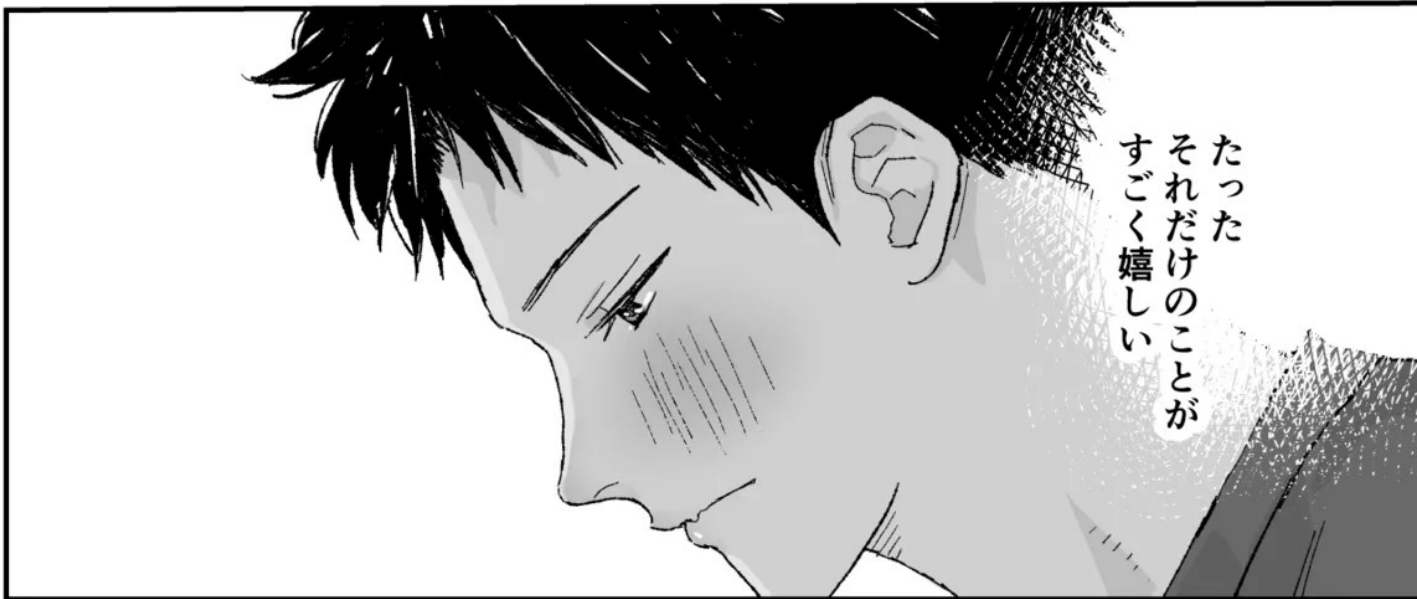
あ
あ
あ
あ
あ
あ



何も言葉は
交わさなかったし
数秒しか
顔は合わせなかった
けど



あんなに
人見知りなのに
家から
出てきてくれた



たった
それだけのことが
すごく嬉しい

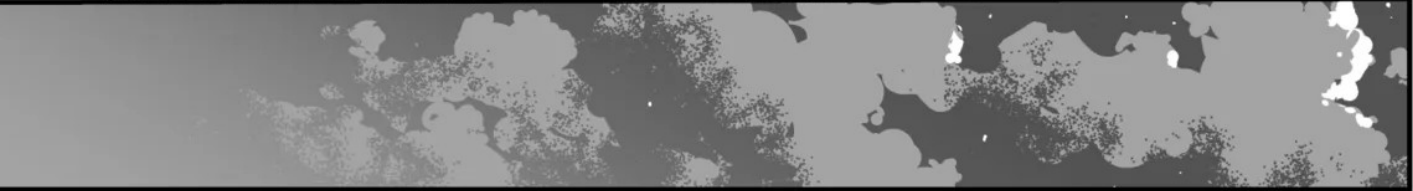


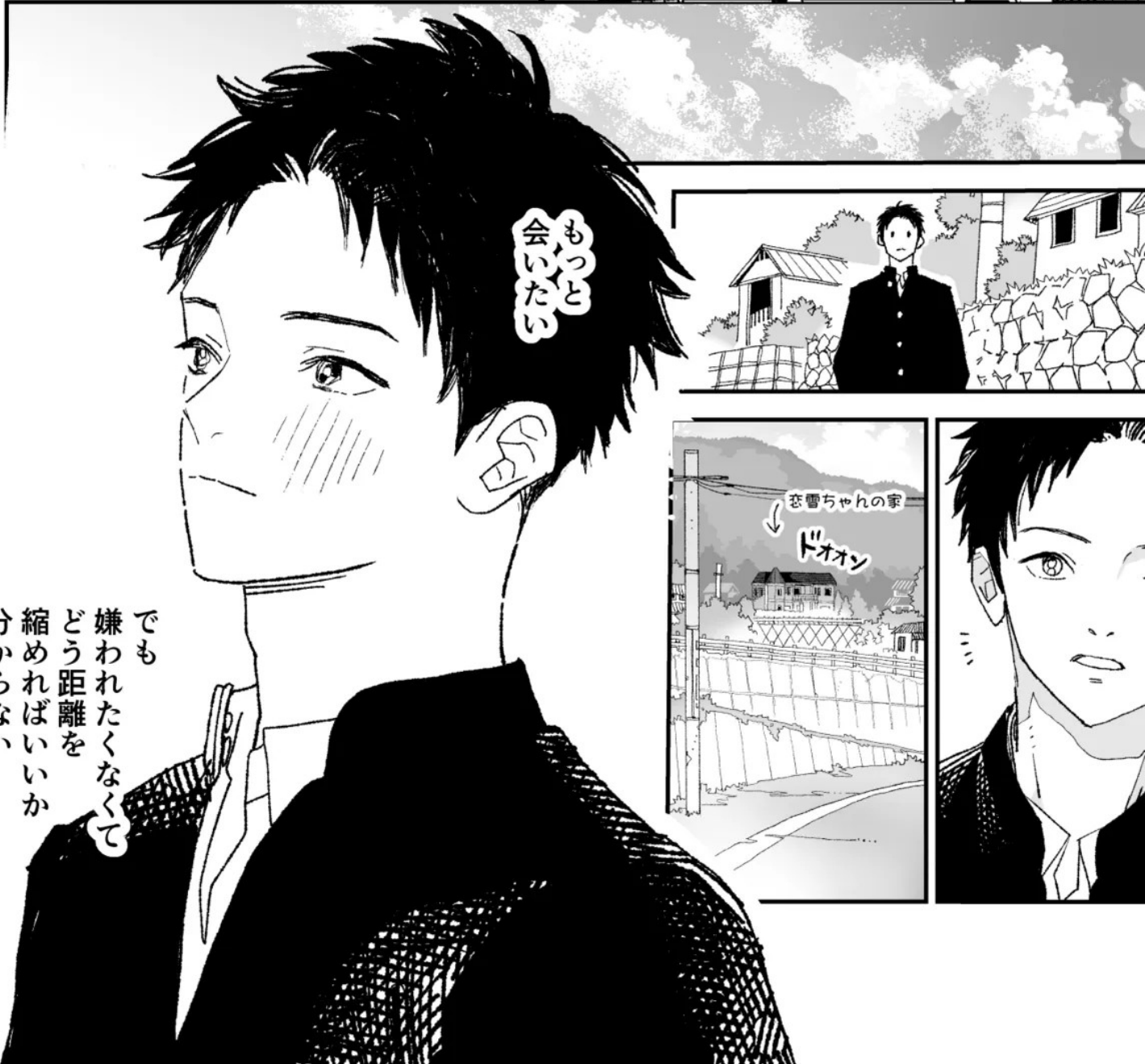
遅刻する



それから
数日経ったけど
恋雪ちゃんは
バス停にいなかった















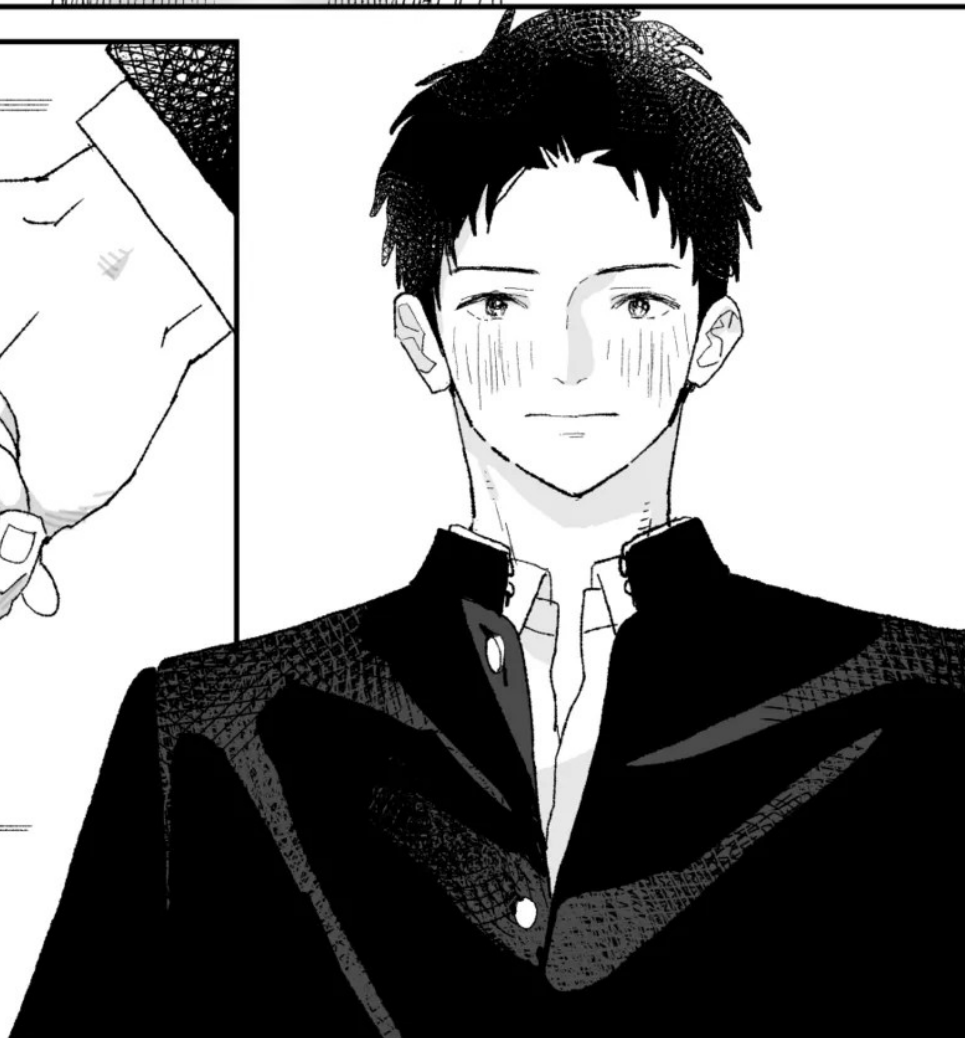
話したいことは
色々あったけど

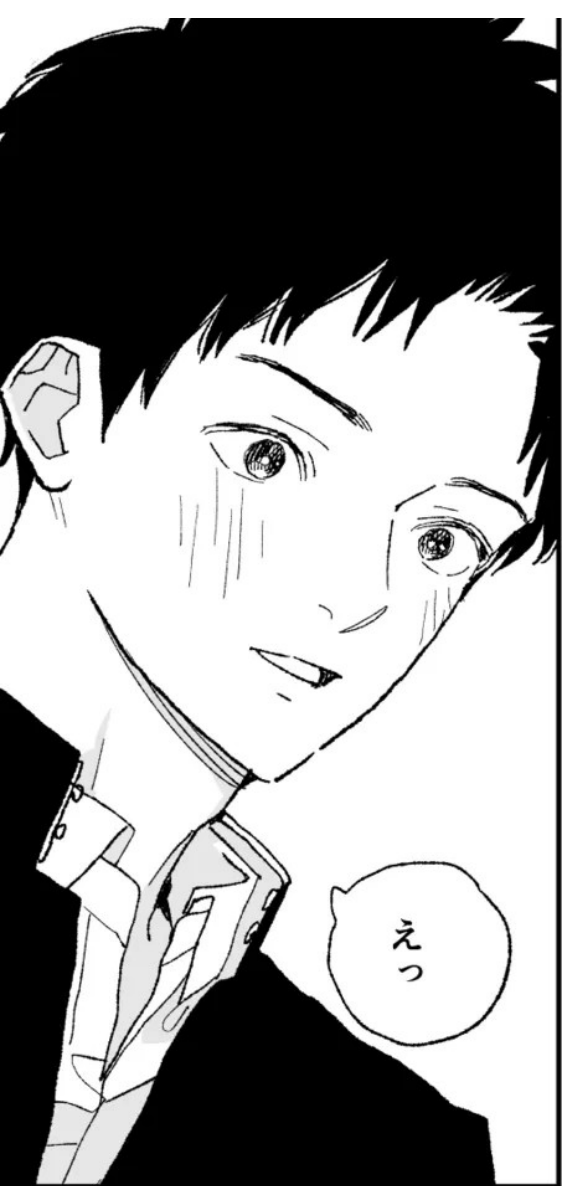
咄嗟に出た
言葉だった



それにこのまま
別れてしまったら

もう会って
くれないような
気がして
離したくなかった





嬉しさと
同じくらい
不安はあった



交換しよ
ヤッソク

連絡先



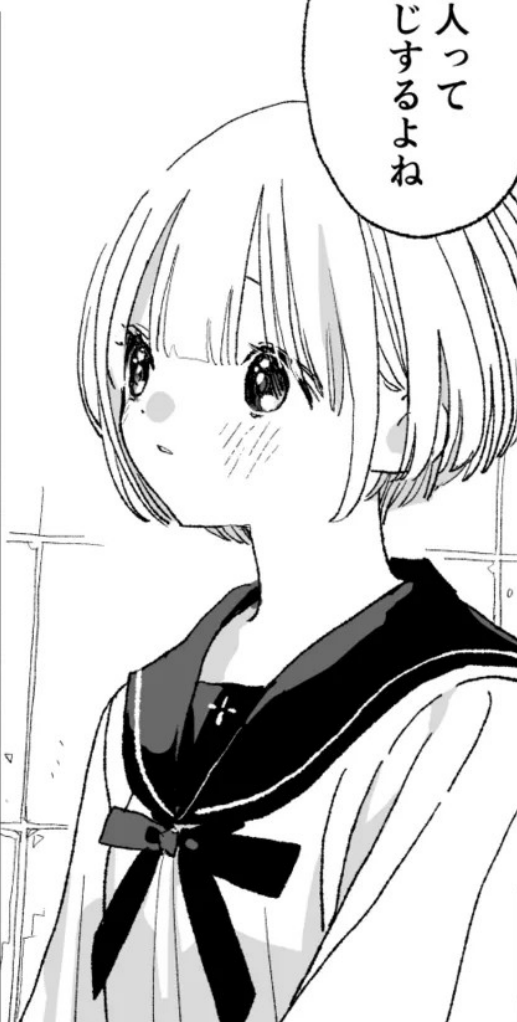
寝落ち
通話とか
さー



ずっと
知りたかったん
だよなー!

恋人って
感じるよね

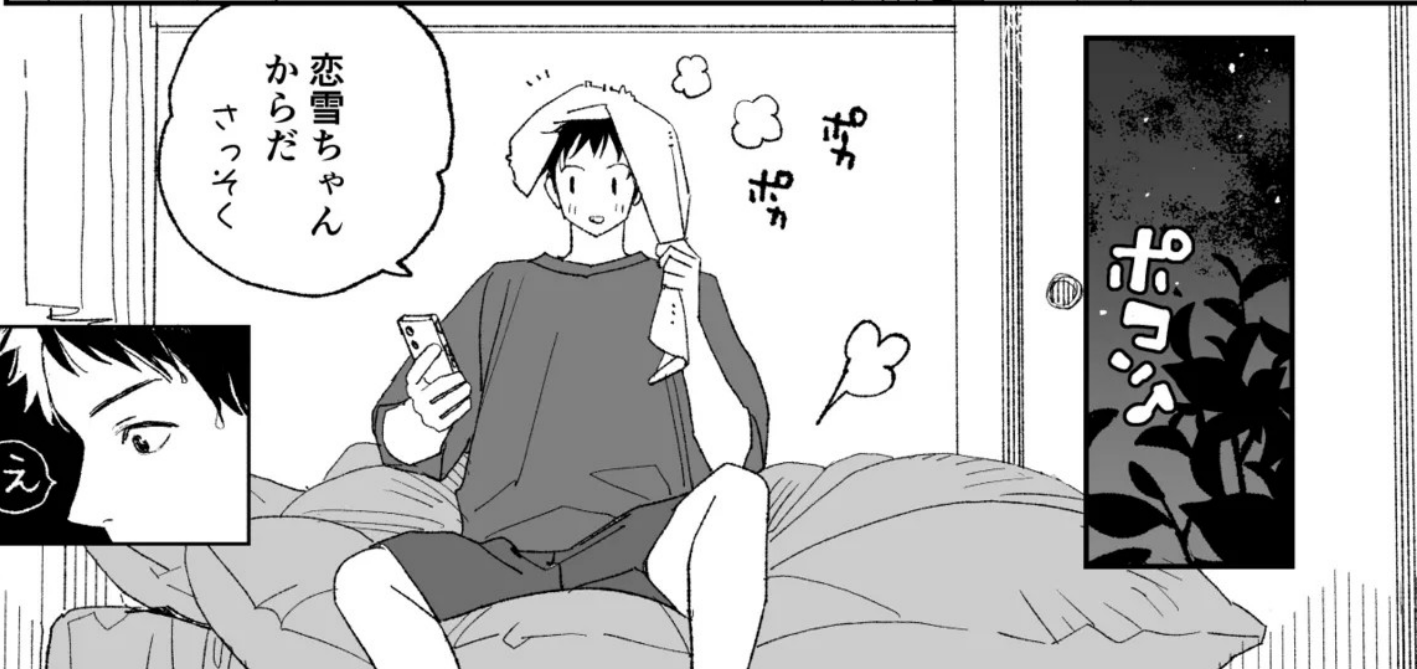
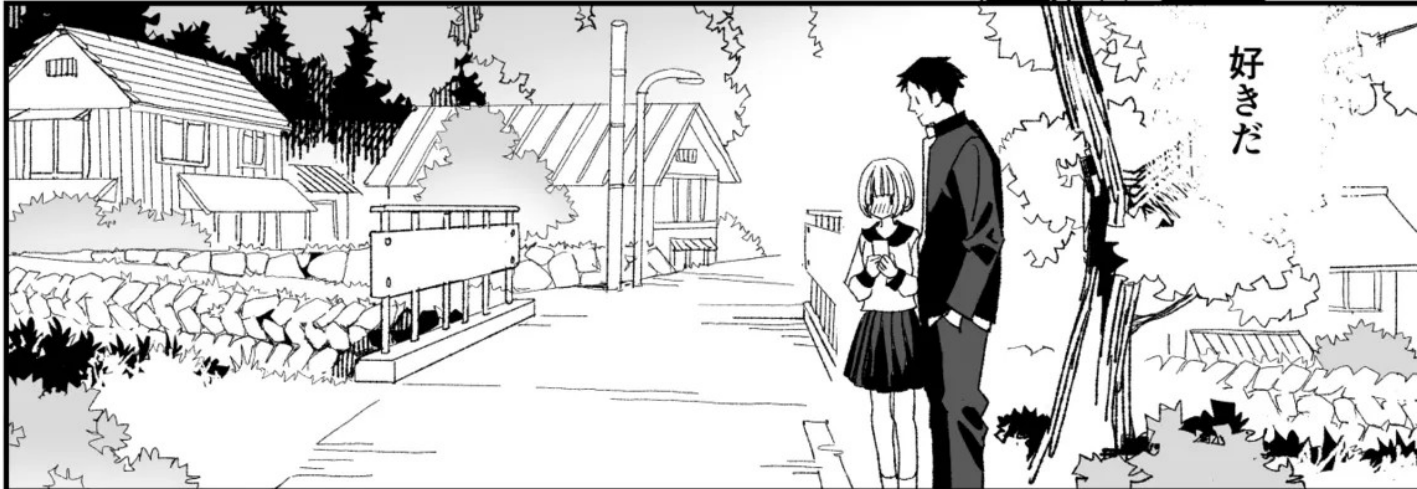
いつでも
話せるし

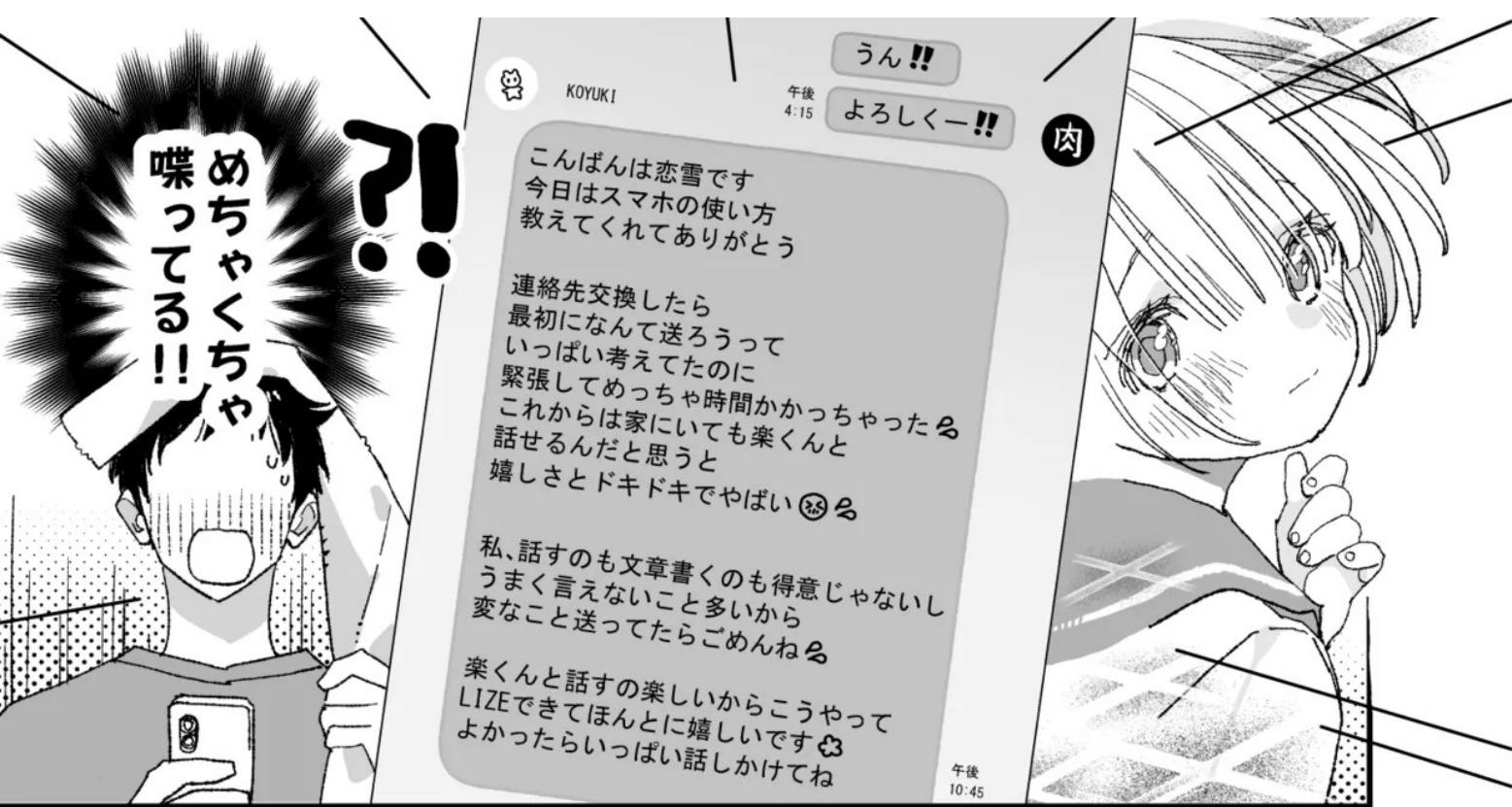


少しずつ距離を縮めていこ...

家まで送ってくよ







めっちゃくちゃ喋ってる!!

?!



KOYUKI

午後 4:15

うん!!

よろしくー!!

肉

こんばんは恋雪です
今日はスマホの使い方
教えてくれてありがとう

連絡先交換したら
最初になんて送ろうって
いっぱい考えてたのに
緊張してめっちゃ時間かかっちゃったる
これからは家にも楽しくと
話せるんだと思うと
嬉しさとドキドキでやばい🍷る

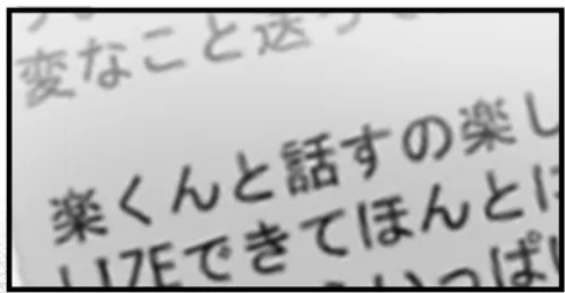
私、話すのも文章書くのも得意じゃないし
うまく言えないこと多いから
変なこと送ってたらごめんねる

楽しくと話すの楽しいからこうやって
LIZEできてほんとに嬉しいです🍷
よかったらいっぱい話しかけてね

午後 10:45



好きだ



スマホのおかげで
恋雪ちゃんとの
距離がすごく近くなった

は、配達員さん…にも
よく甘える…っ

可愛いな
っ

人懐こい
子だね

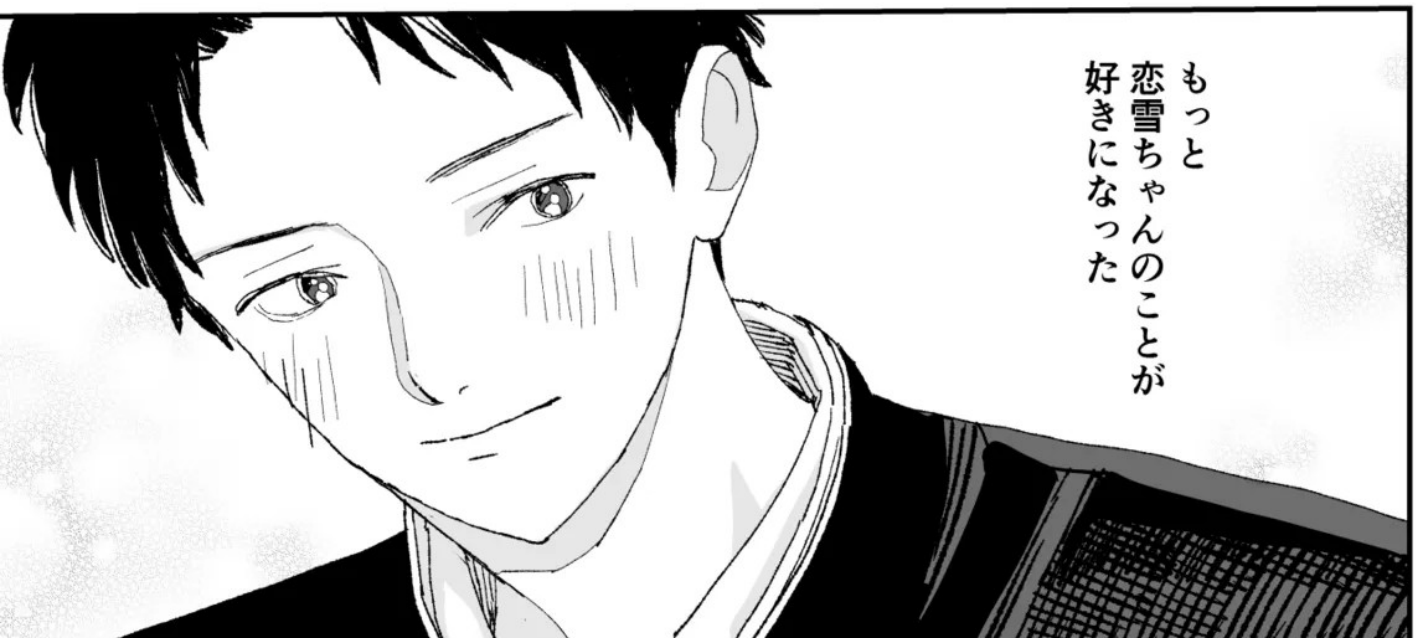
なぜか恋雪ちゃんは
俺と会うとき
必ず制服を着てくる

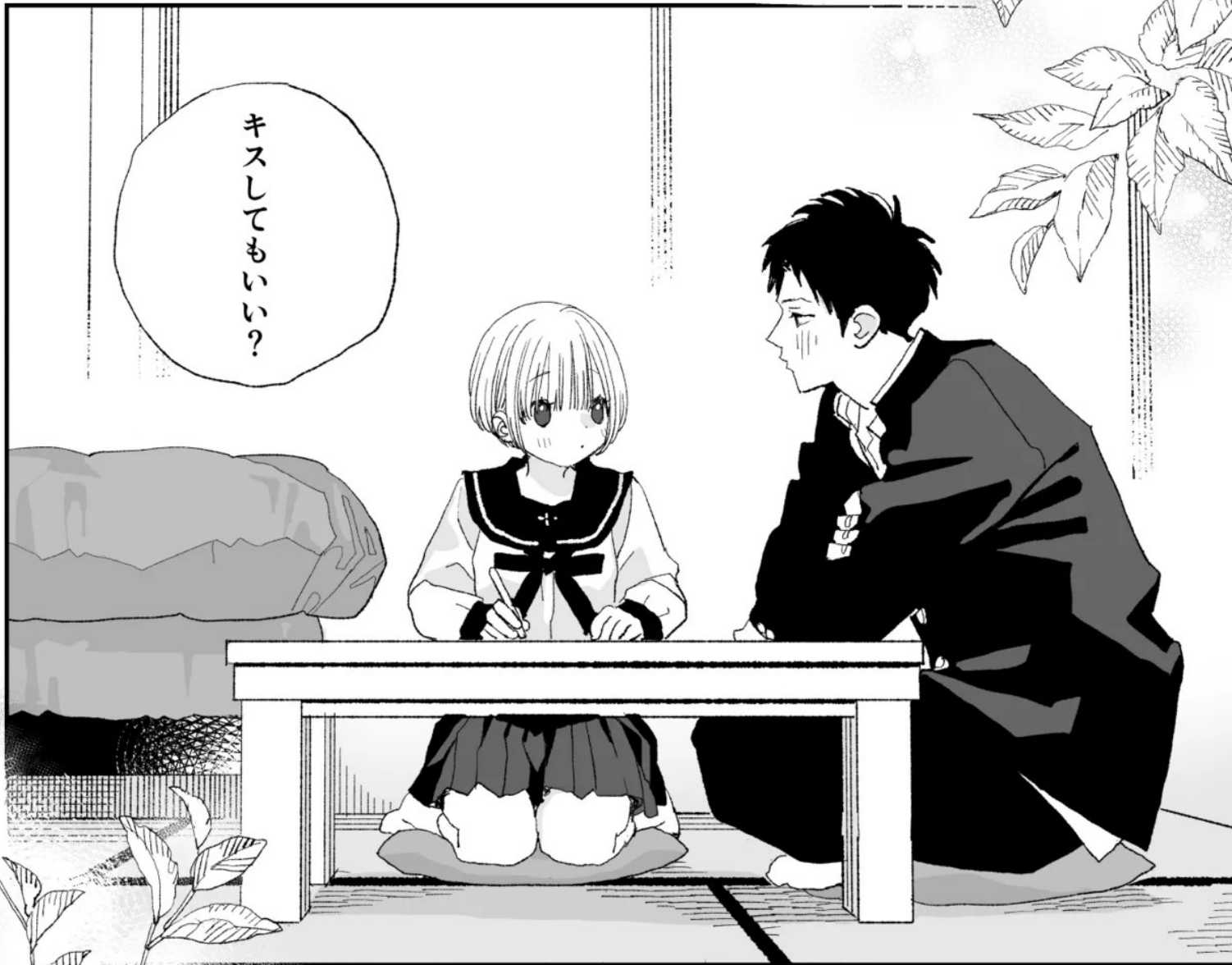
言葉は
途切れ途切れでも
恋雪ちゃんのペースで
話してくれる
ようになって

えー!!
そんな機能
あったの

スマホ俺より
使いこなしてる
じゃんっ







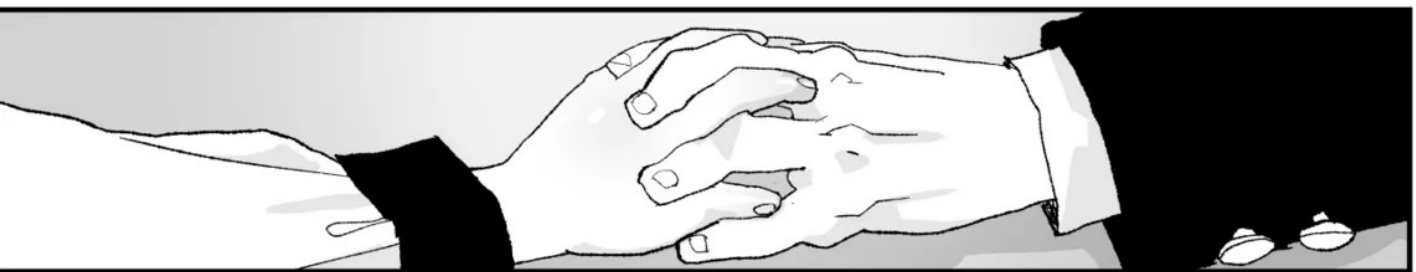
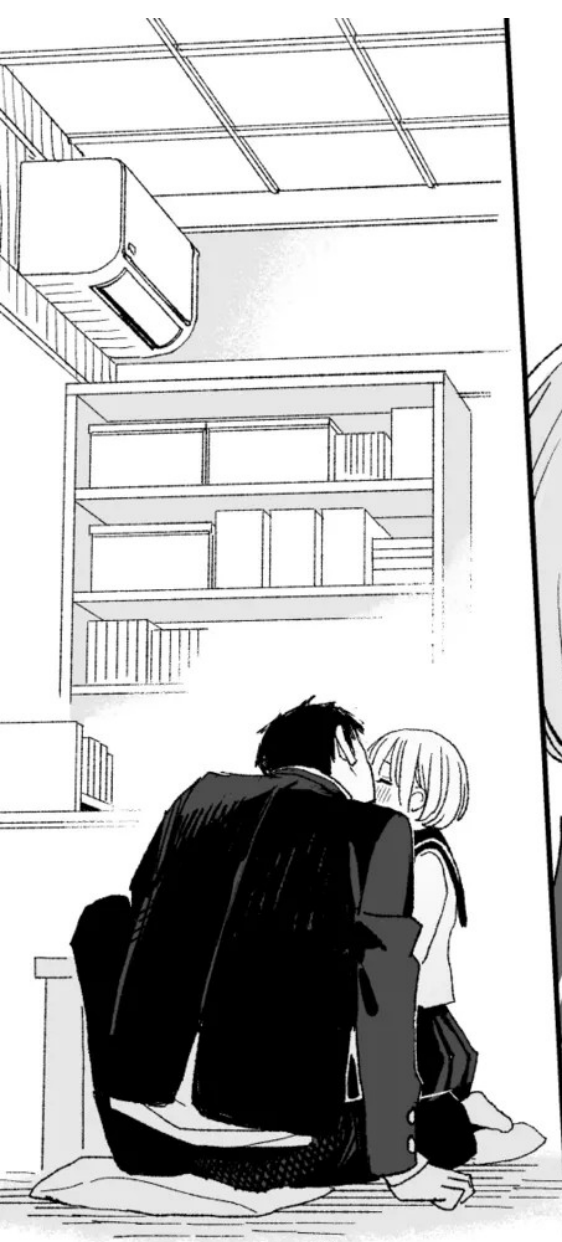
キスしてもいい？



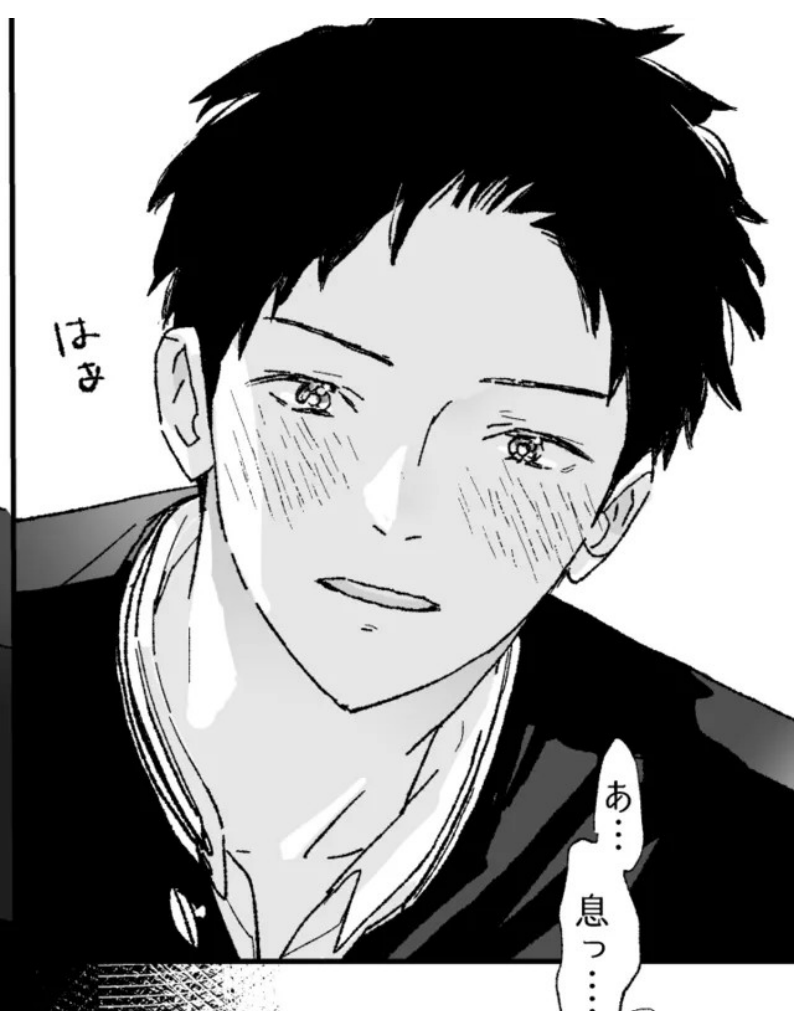
あまりに自然に
出てしまった
からなのか



日常の
ありふれた言葉を
発するみたいに
自然に零れた









でもいつか
もっと先のことまで
したいと思ってるよ

ごめん



うん...

その夜はたぶん
5リットルは抜きました



いっ
ふ

今度の日曜日
2人とも
出掛けるの？

うん
帰り遅く
なるかも

お母さん

1日家に
誰もいないって
こと？

そー
だけど
何？

まさか
こんなにはやく
チャンスが
くるなんて

2人きりの
お家デート

部屋暗くして
映画とか
観ようかな

初見を装って
ちよつと

えっちなやつ間違えて
見ちゃって

気まずいねって笑い
あつた勢いで身体

くつつけちゃって
そのままうわああああああ
おっぱいおっぱいまんこまんこ

だめだ俺：

これじゃまるで

ヤリモク最低

クズ男みたいだ

えっちなすること
しか考えてない

平常心で
紳士的に振る舞おう

恋雪ちゃんの
気持ちに大事に
しなきゃ

...



どっちが
いい？

オレンジ
ジュースと
麦茶

オレンジ
100%



ドッ



むぎちゃあで...

お家デート(1日編)当日



ゲームしよ
こないだ
話してたやつさ...



恋雪ちゃん
ゲーム得意って
意外かも

ゲームは
得意なの多い





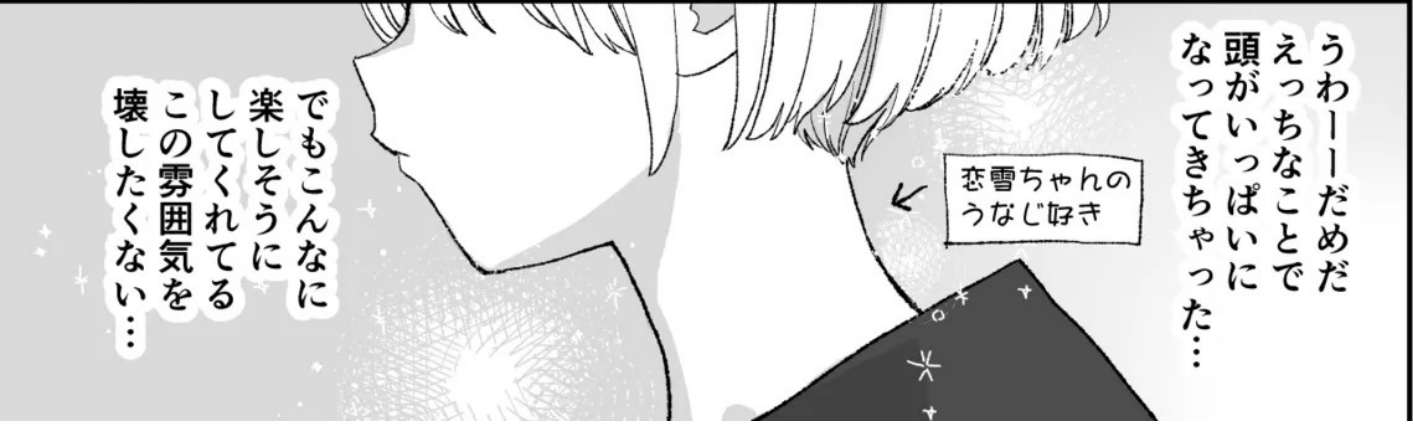
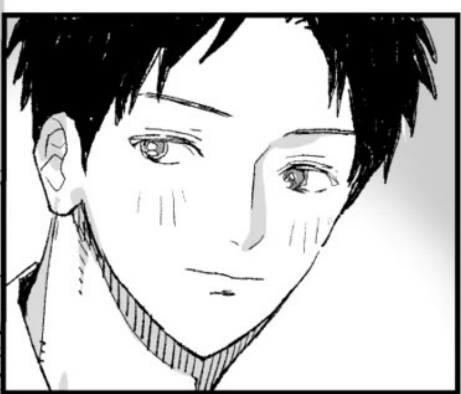
んっ

真剣

あー
なんなんだこの
お花みたいなの
甘くていい匂い



恋雪ちゃんの
好きなものが
またひとつ知れて
嬉しい気持ちに
なりながらも



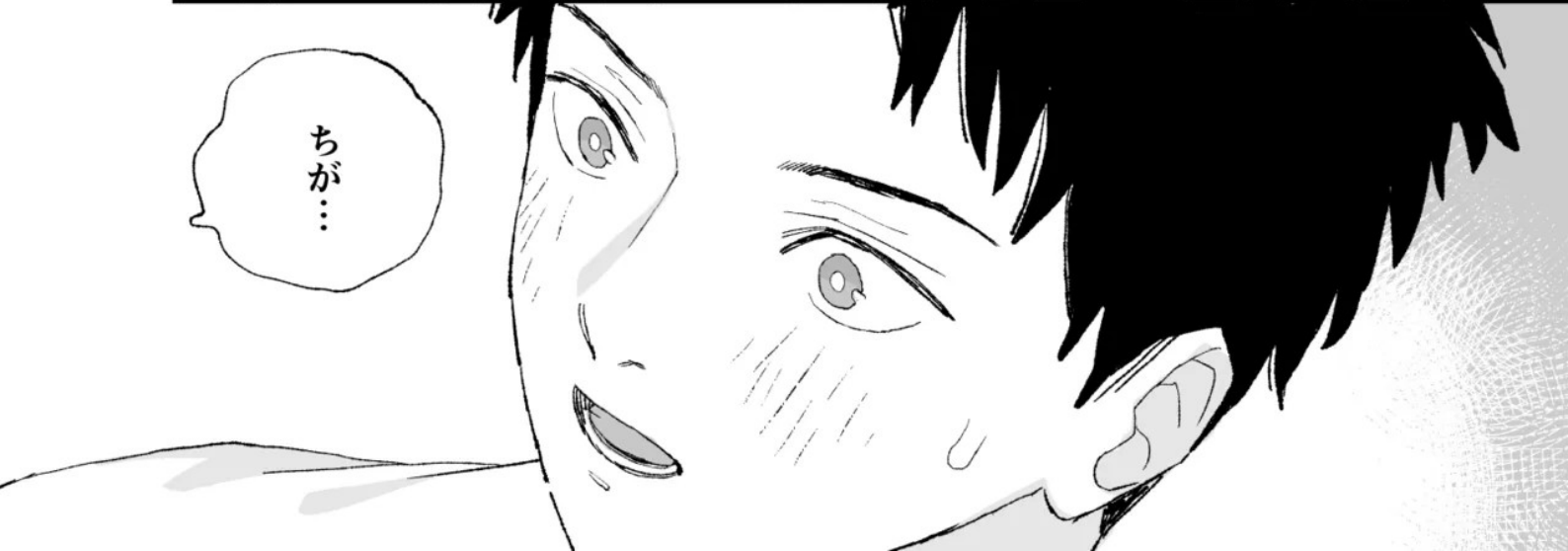
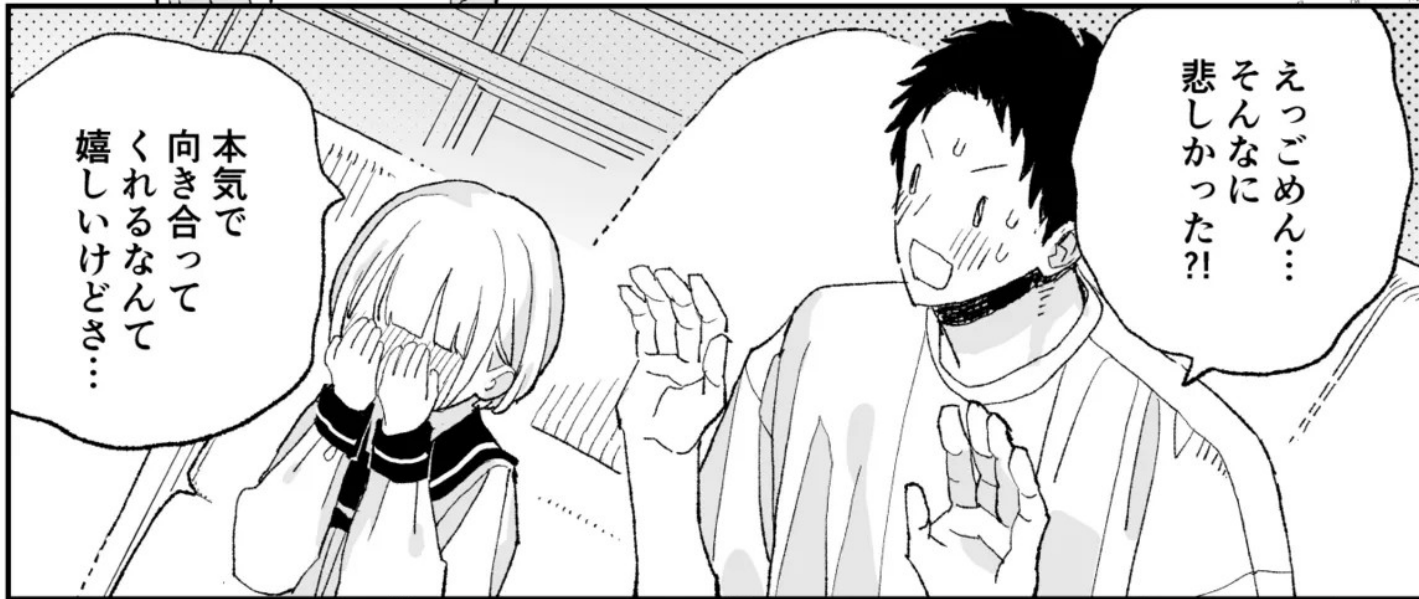
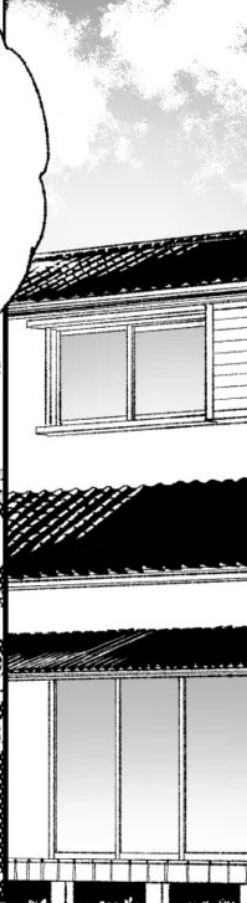
でもこんなに
楽しそうに
してくれてる
この雰囲気
壊したくない…

恋雪ちゃんの
うなじ好き

うわーだめだ
えっちなことで
頭がいっぱい
なっつきちゃった…

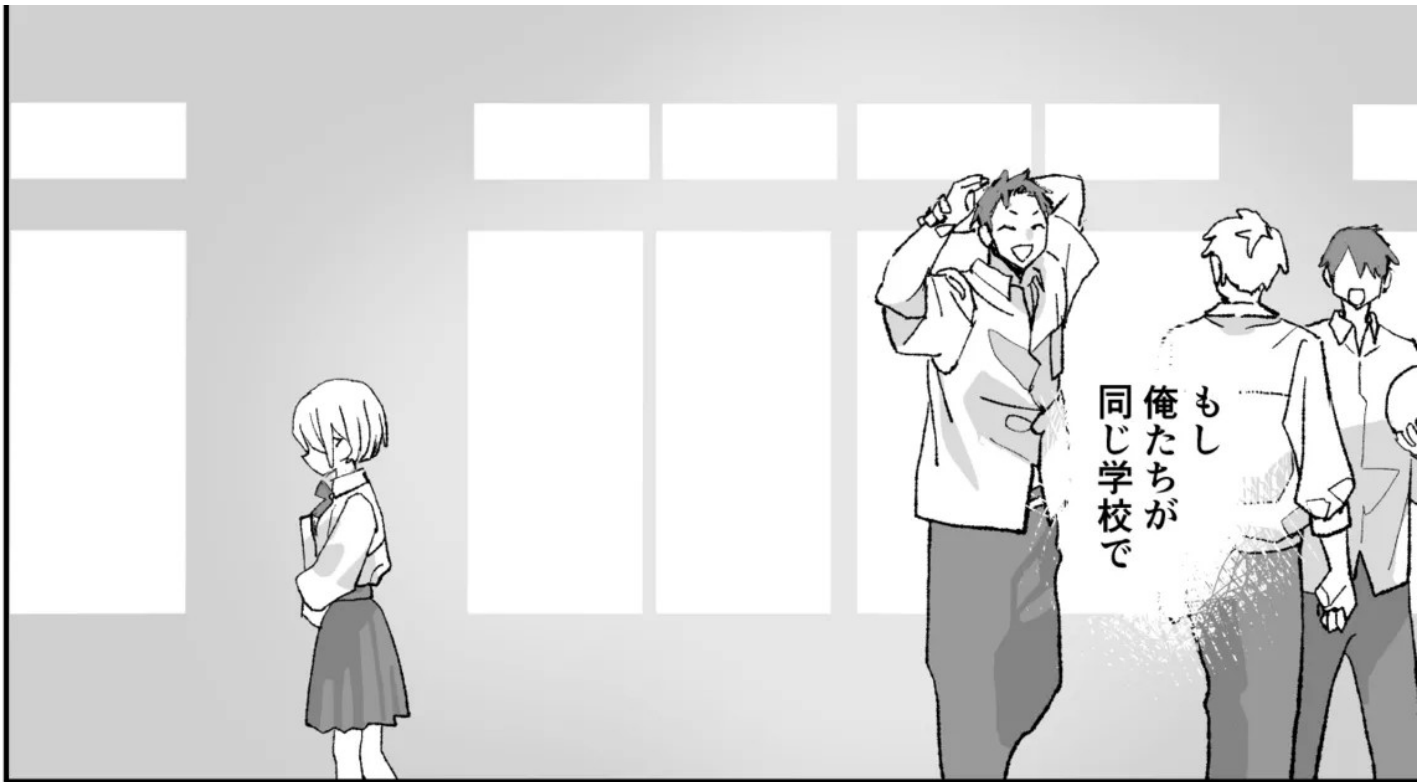


ホロ

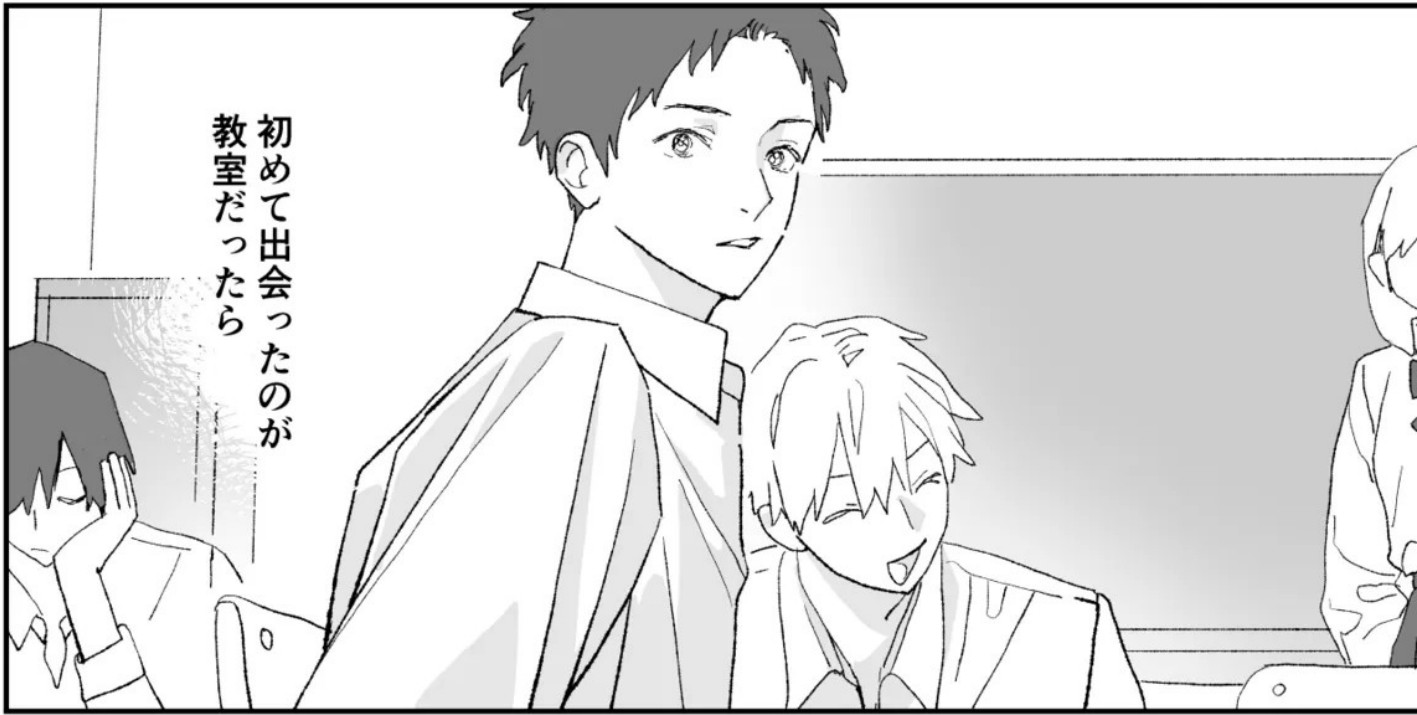




ごめんなさい...



もし
俺たちが
同じ学校で



初めて出会ったのが
教室だったら



でも



もしかしたら
こんな気持ちにはなっ
てなかったかもしれな
い

俺はあの瞬間から
恋雪ちゃんに
ずっと恋をしてるんだ

恋雪ちゃん…俺…

だから

俺…



恋雪ちゃんのこと
好きすぎて…ッ

恋雪ちゃんが
悲しむ顔は見たくない!!

もうずっと
こんな感じ!!

?!





俺はえっちなこと
ばっかり考えてるし

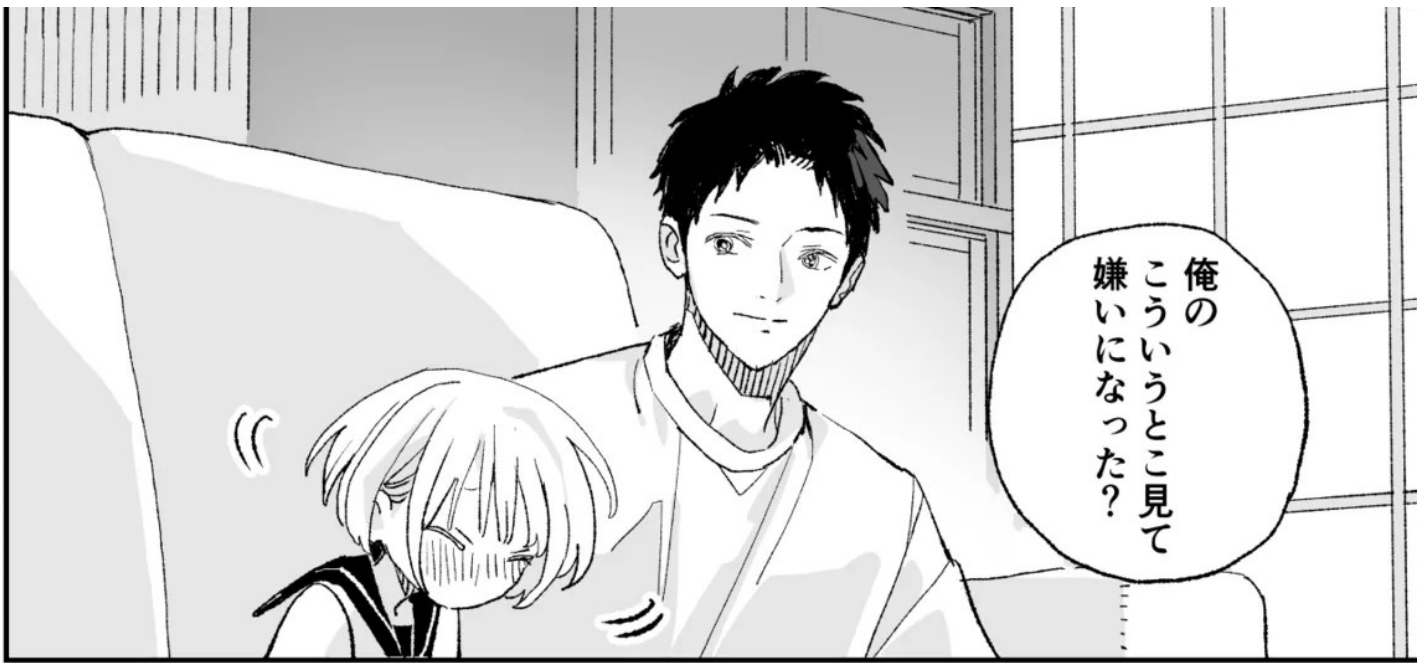
今もどうやったら
恋雪ちゃんと
えっちできるか
ずっと考えてて…



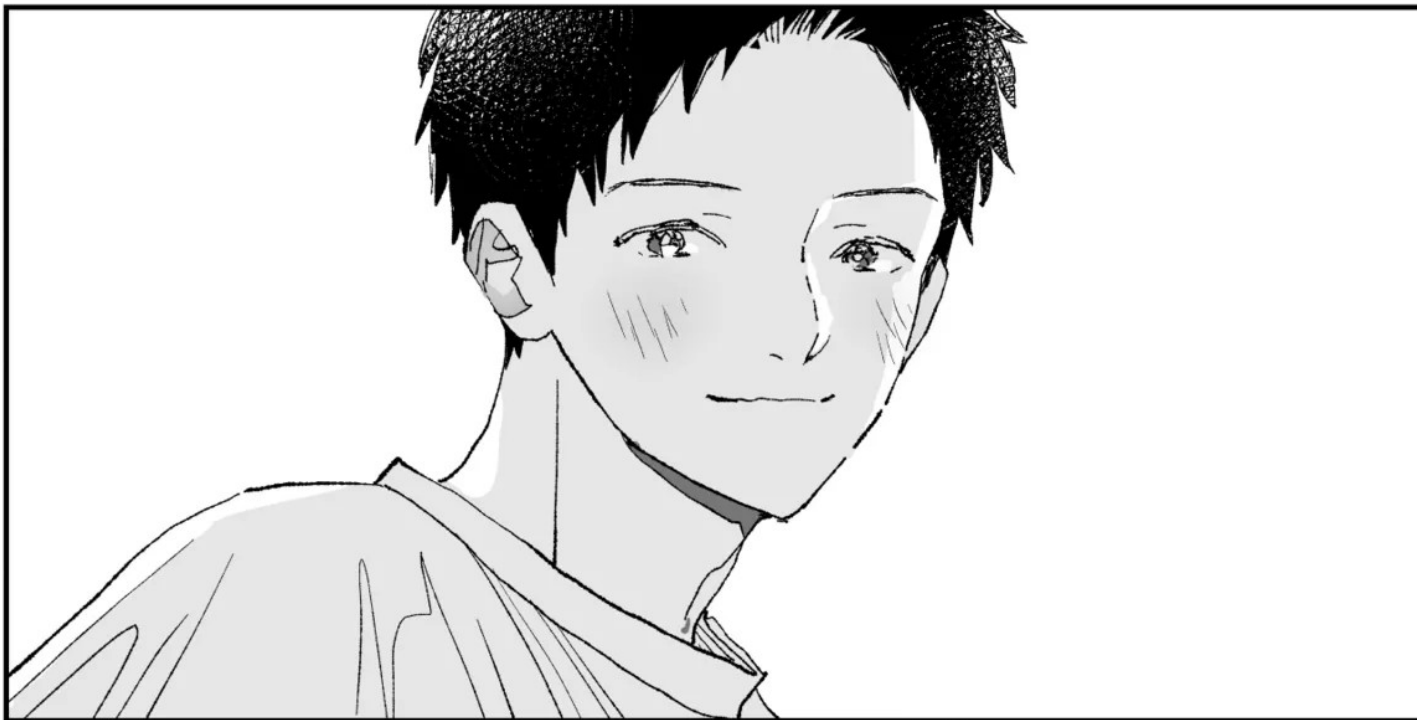
恋雪ちゃんの前では
かっこよくいたいから



そういう自分を
隠すのにいつも
精一杯でさ

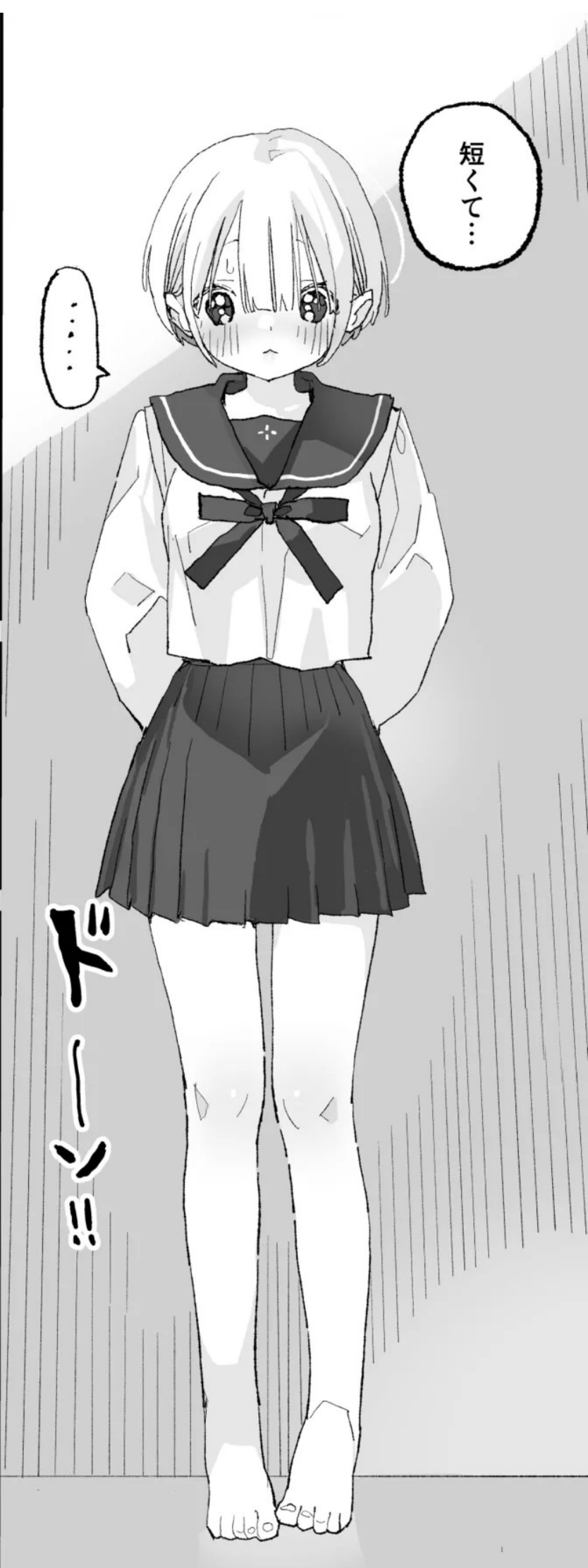
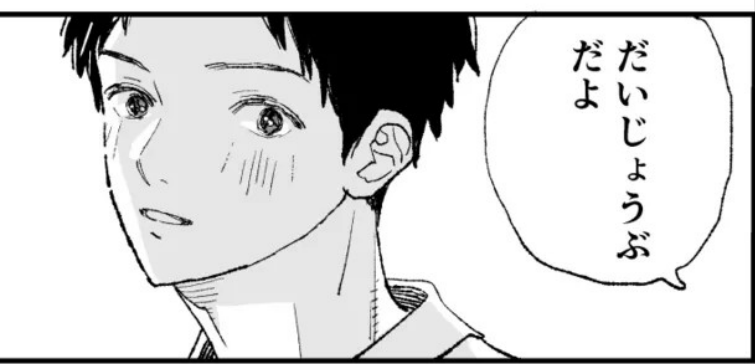


俺の
こういうとこ見て
嫌いになった？



俺もどんな
恋雪ちゃんでも
好きだよ

ごめん姉ちゃんの
だから…その…







俺が言ったこと



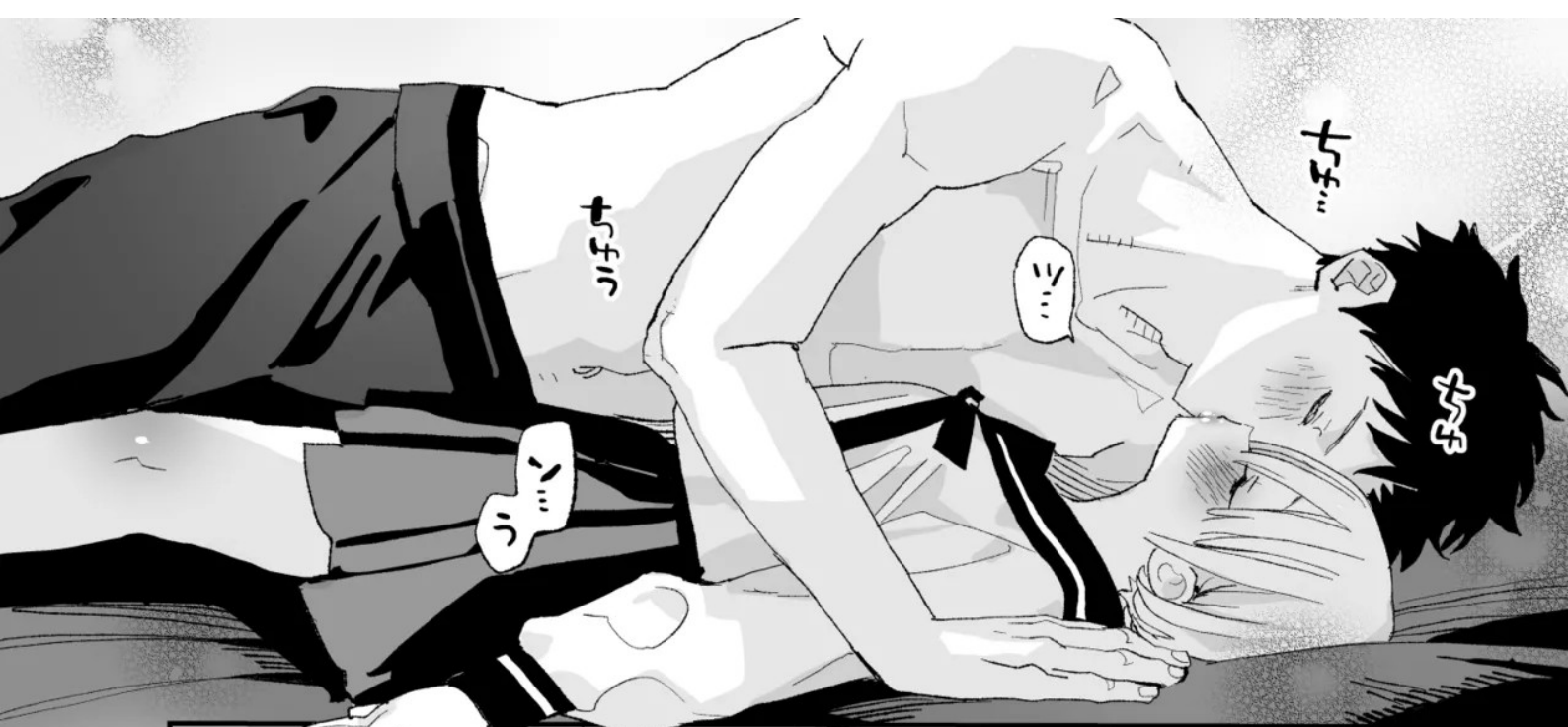
……

うん……

……うんっ

ね
この間のこと
覚えてる？







俺も爆発しそう



ほんとだ…
すごい…

へへ
どっちの
心臓か
わからないね



だってずっと
こうしたかったから



俺恋雪ちゃんが
身に着けてるもの
全部好き

すごい
可愛い







硬くなってる

気持ちいい？

キスして
おっぱいちょっと
弄っただけなのに…

そこ…
あ…の…

あ…

ん…

あ

あ…

あ

ちゅん

カシカシ

ん

ん

カシカシ

ん

ん

は…

ん…

あ…
好き…

ちゅん

ん

ちゅん

ちゅん



この音
すげーえろい

この感度…
自分でも
触ってんのかな



恋雪ちゃん
濡れやすいね

あ…や…
はずかしい…

うっ
ん

あ…っ
あ…っ
あっ



ひとりであろいこと考えて…

まって…

あッ♡

こんな可愛い顔で…

いきそう？

それ…♡
だめ…え♡

あ♡あ♡あ♡
♡♡♡♡♡



想像したらめっっちゃ興奮する…

ドク

めっっちゃ興奮する…

は♡♡♡



これからこーやって何回もセックスするようになったら

れろ

あ♡♡
あ♡♡

めっ♡♡♡
めっ♡♡♡

そんな恥ずかしい話もしたい

もっと恋雪ちゃんのこと知りたい

♡♡♡
♡♡♡



どんな下着を
着けてるのかとか

その中は

感じてる
ときの表情

声

ハハ

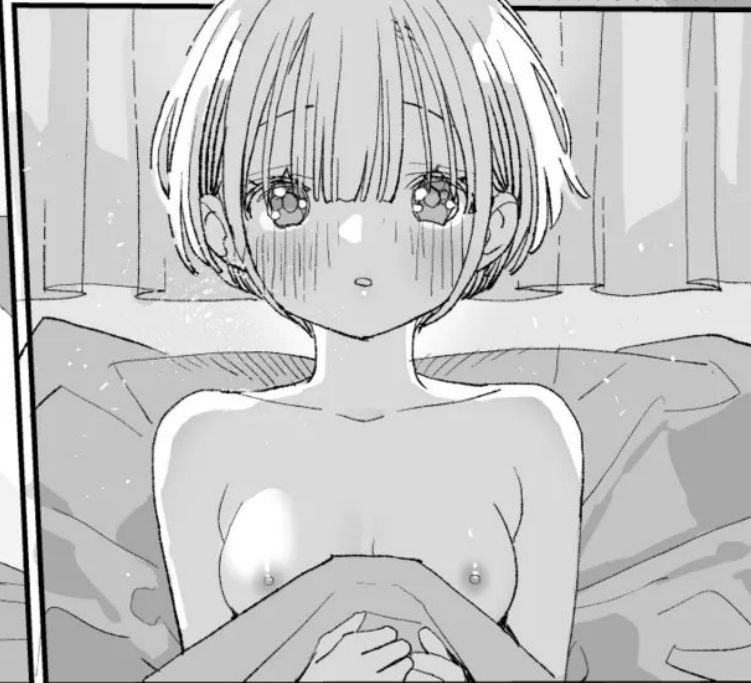
まだ見たことない
恋雪ちゃんを
頭の中で想像して
何度も抜いてきた

ハハ

ハハ

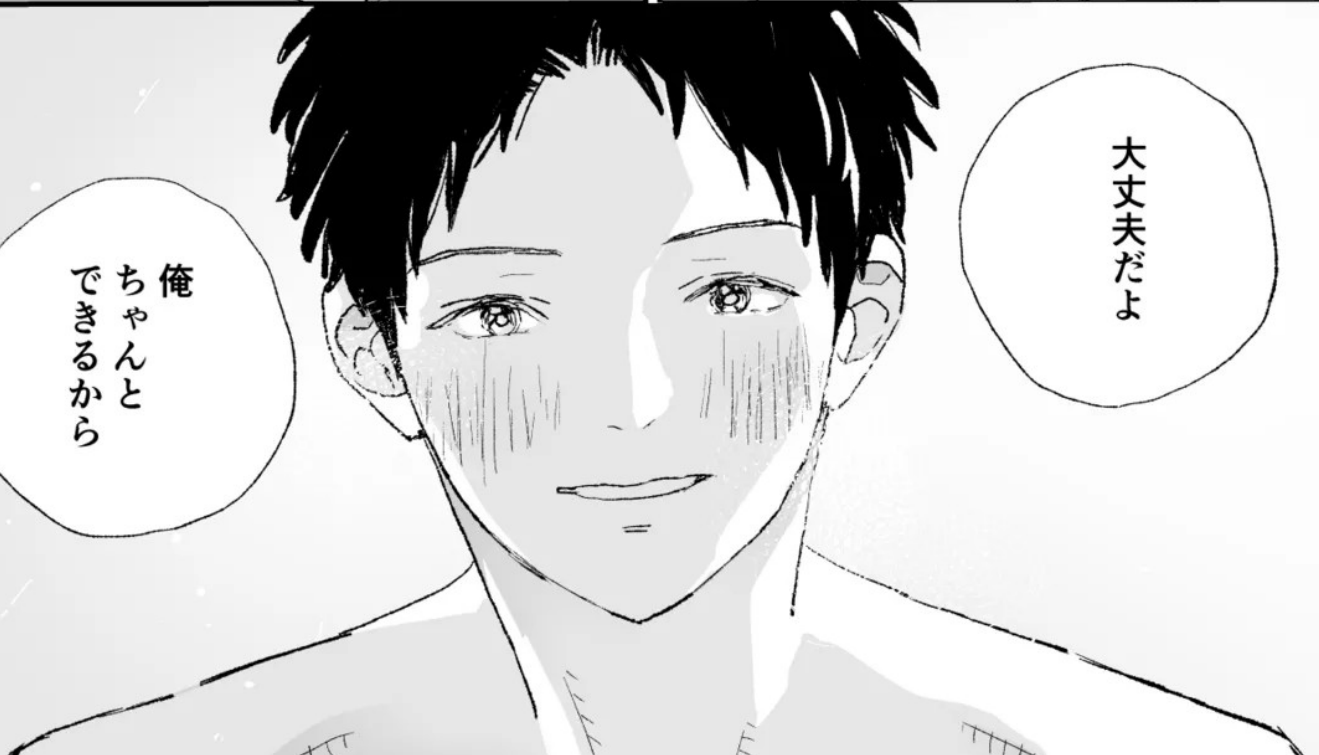






俺
ちゃんと
できるから

大丈夫だよ





ゆっくり
するからね

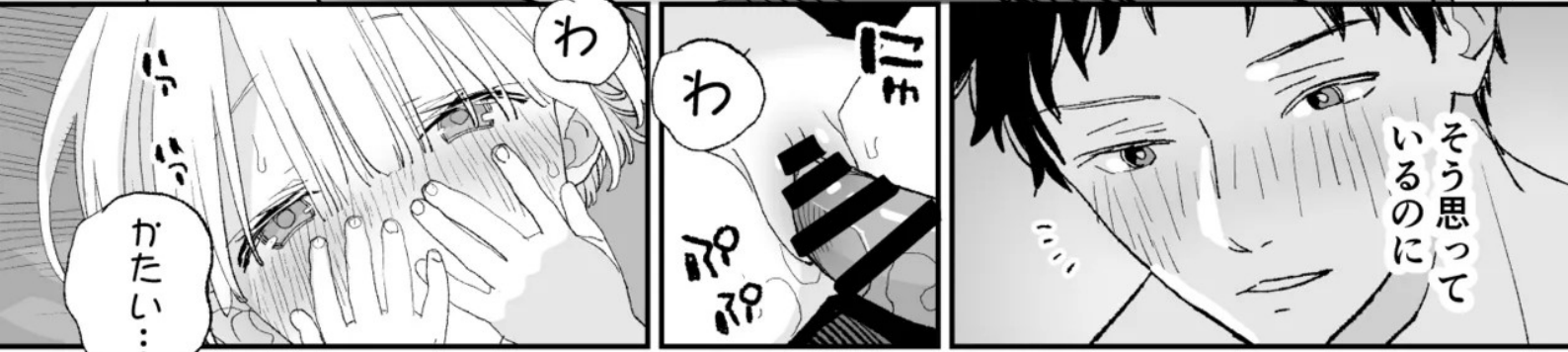
ぬいぢ...

あッ...

恋雪ちゃんの前では
かっこよくいたい

...うん...

この瞬間は
絶対に



そう思っ
ているの

わ

わ

かたい...



.....
ちよつと
入ってるよ

わ

わあ

すーい...



口数が少ない
恋雪ちゃんの
辿々しい実況...

痛くない？

うん...

半分
いってる

あ...わ...わ

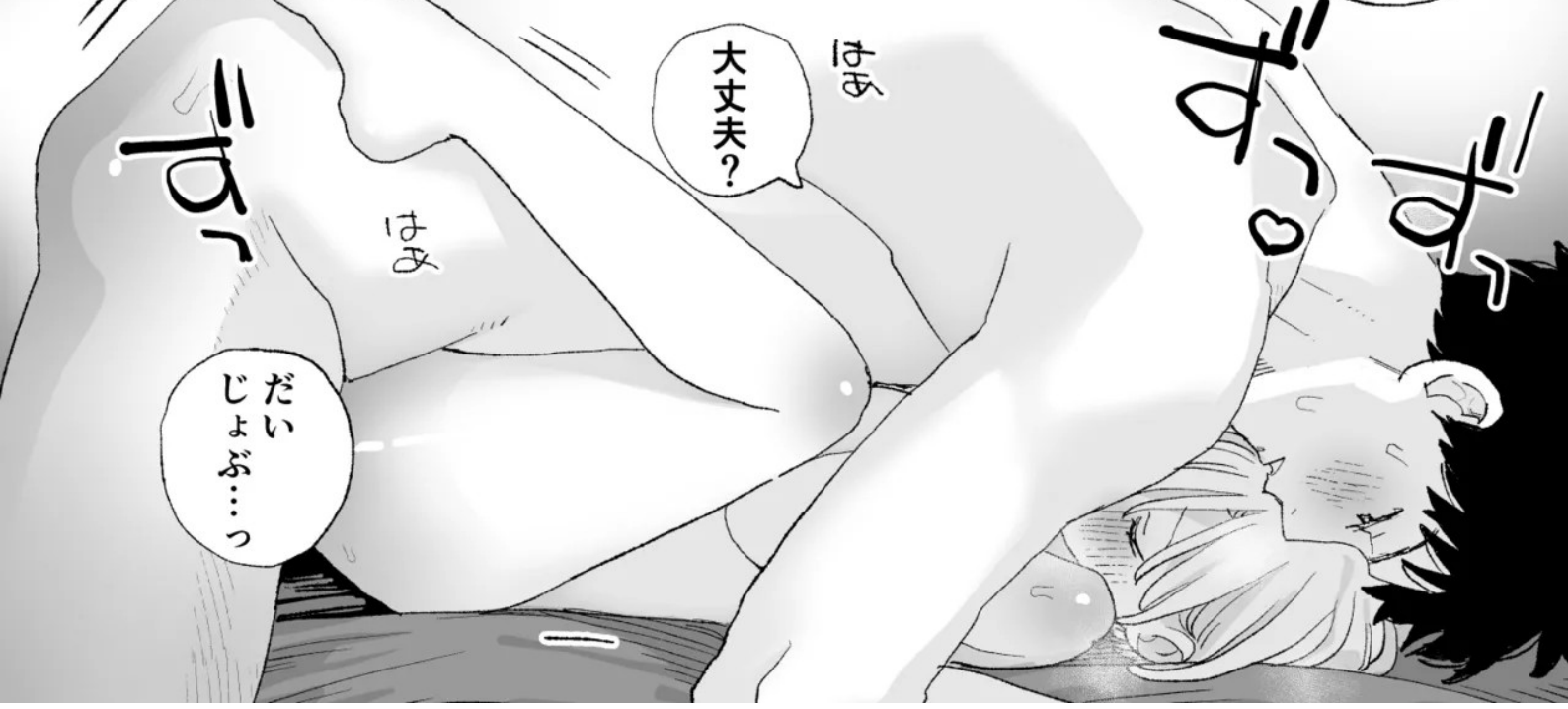
ぬいぢ...



おっきい

可愛すぎて...





恋雪ちゃんのここ
擦るとヌルヌル
溢れてきて
めっちゃやえろい

ほら

ニハハハ

ニハハハ

ニハハハ

ニハハハ

ニハハハ

ニハハハ

どんどん
俺の形に
馴染んでる

可愛い

もっと
いっぱい
気持ちよく
なって

はあ

…すごい…
きもちいい…





楽しくん…
すごい…

じょうず…

フ

フ

フ

…



腰の動きを
はやくすると
恋雪ちゃん
のえろい声
がたくさん
聞こえて



もっと聞きたくて
恋雪ちゃんが
気持ちいいところ
を何度も擦った

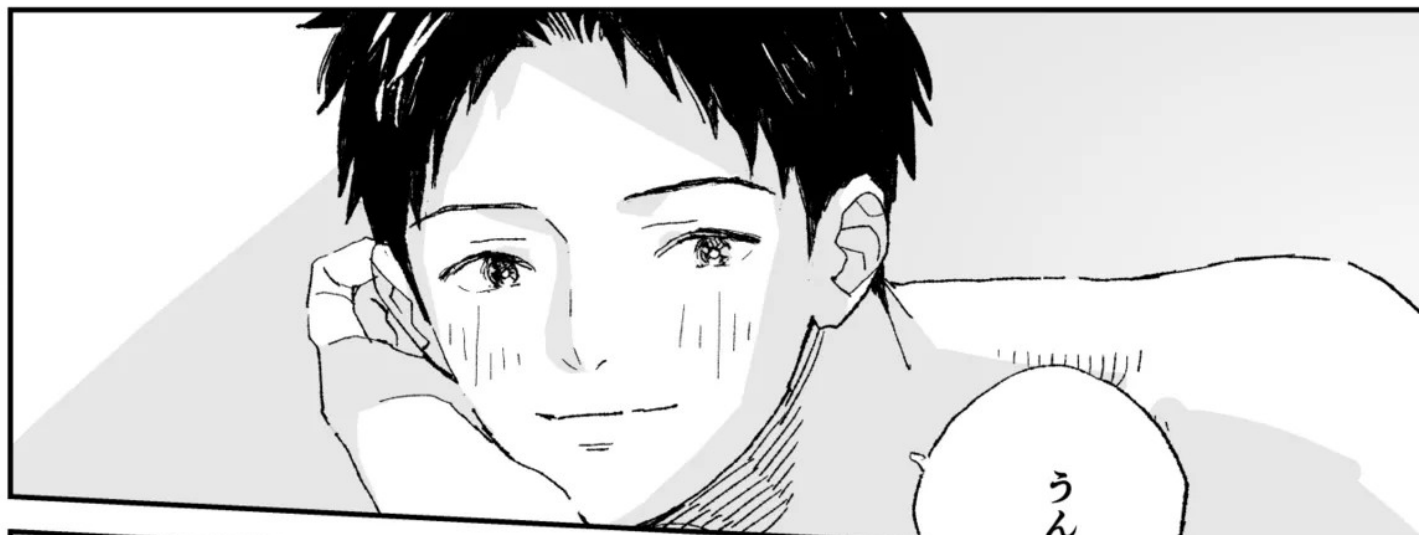




もっと気の利いた言葉とか
キュンってさせるような仕草とか
考えてたのに

恋雪ちゃん好き可愛い
ばっかりが
口から出ていた





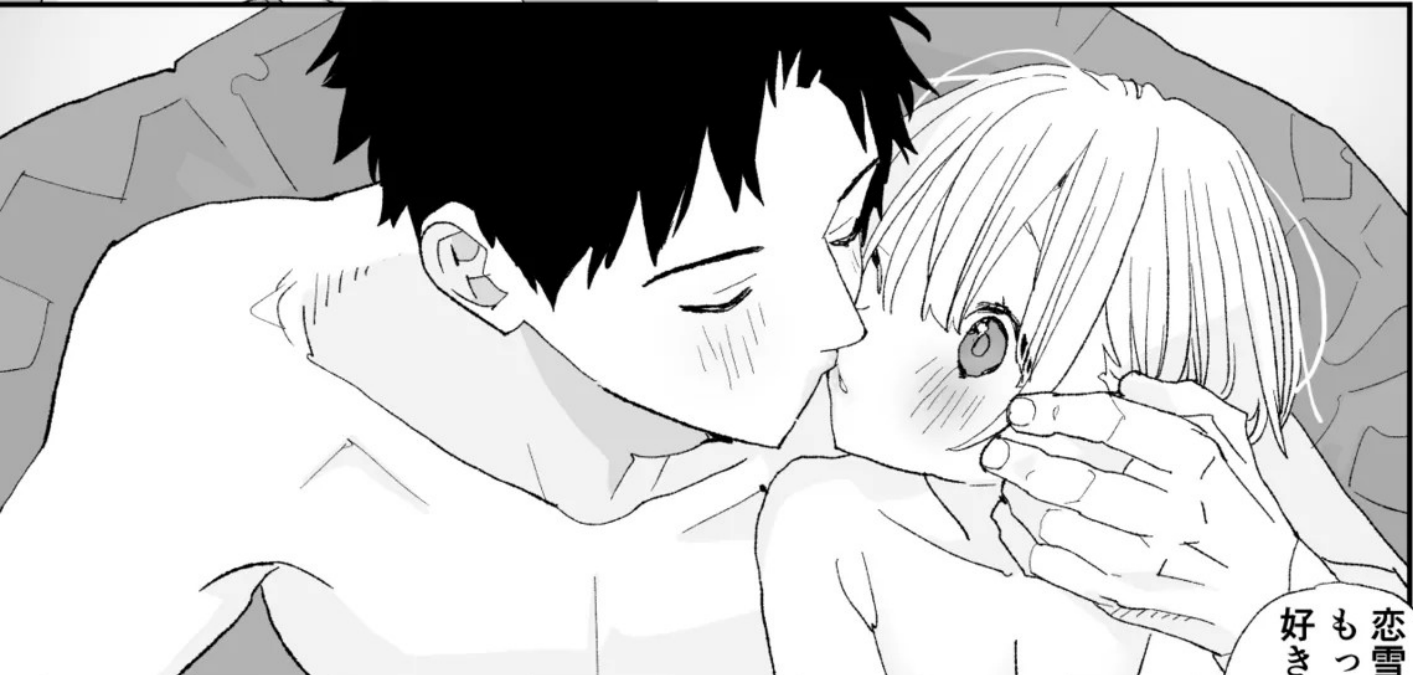


私のまわりには
優しい人しかいない

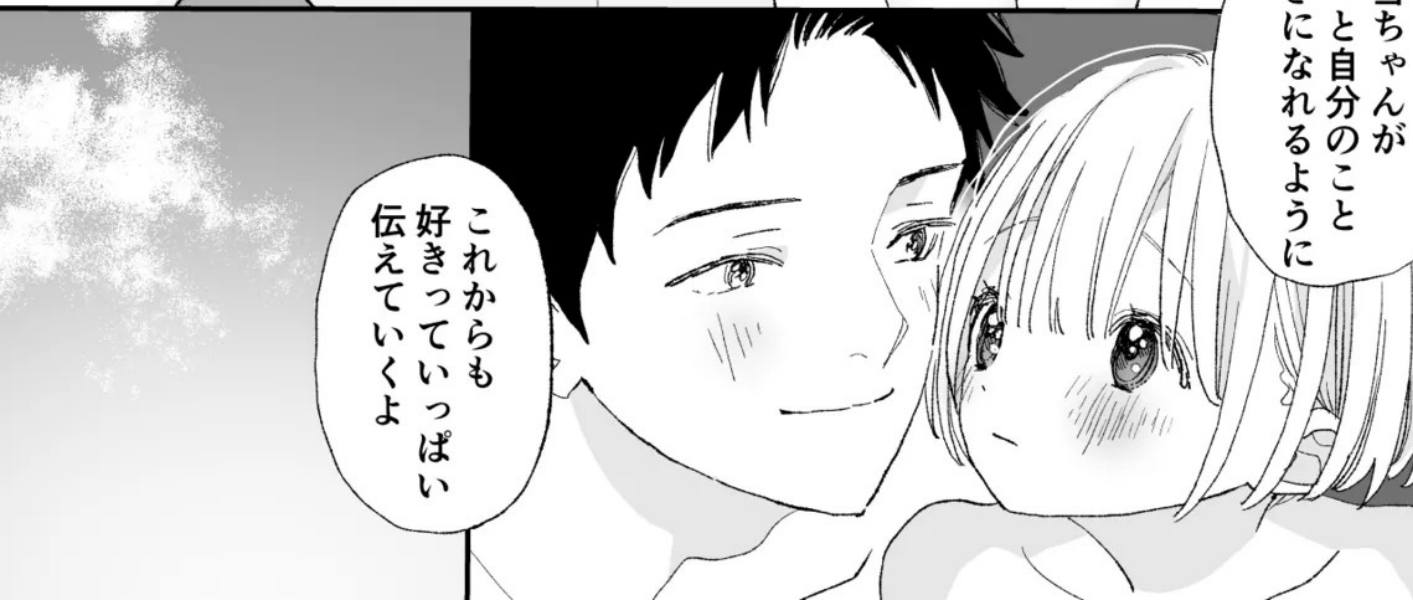


いじめられてなんて
いないのに
勝手に傷付いて
独りになろうと
してただけ

分かってたのに



恋雪ちゃんが
もっと自分のこと
好きになれるように



これからも
好きっていっぱい
伝えていくよ



恋雪ちゃん

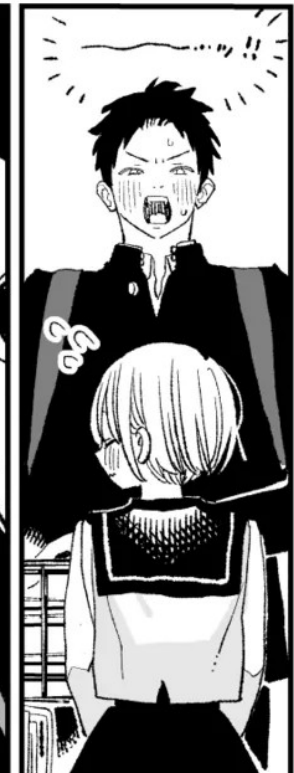
遅刻するーッ

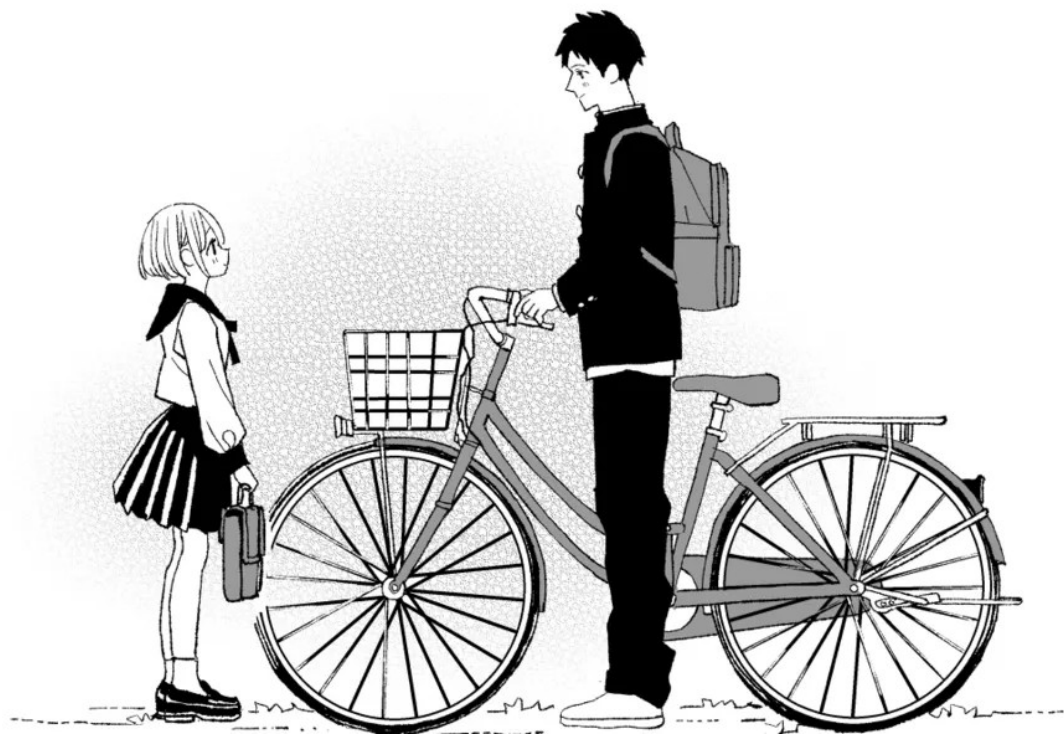
おはよ…

おはよう

…

昨日初えっちした2人





♡ おわり ♡